

とましん景況レポート No.160

令和6年7月～9月

- 苫小牧信用金庫の第2四半期の活動、とましん景気動向調査概要
- 第144回地域景気動向調査 1
アンケート調査による管内の概況
－ 業況判断指数は、前期比6.2ポイント改善 ▲9.8 －
- 特別調査「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの
対応について」 8
- 管内主要経済統計 10
- 特集 拡大するアジア新興国経済 18
- お取引先企業のご紹介 20
苫小牧市 お弁当のこすもす 様
札幌市 株式会社 千野米穀店 様
- 最近の管内のトピックス - 新聞報道より - 21



明るく 元気に このまちを

苫小牧信用金庫

●●● 苫小牧信用金庫の第2四半期の活動 ●●●

- 令和6年7月 ・ 苫小牧プラスアンサンブルコンサート（5日）
- 令和6年8月 ・ 第31回とましん子供ものづくり教室（9日）
 ・ とましん景況レポート№159発行（20日）
 ・ 第32回「まち市」開催（31日）
- 令和6年9月 ・ 苫小牧市主催「とまこまいキッズタウン2024」に参加（8日）
 ・ 苫小牧音楽教室連盟ジャズコンサート（13日）
 ・ コープさっぽろ主催「食べる・たいせつフェスティバル」に参加（14日）

第32回「まち市」開催

8月31日(土)に第32回「まち市」を開催しました。この「まち市」は中心市街地活性化の取り組みとして、まちなかの賑わい創出と共に、当金庫役職員が当地域で生産・加工されている地元の特産品を出展者と共にPRし、地場産品を多くの方々に知っていただくこと、平成24度から開催しているイベントです。

当日は、朝方雨が降っていたもののスタート時刻までには上がり、規模を縮小しての開催となりましたが、多くのお客様に来ていただきました。



第144回 とましん景気動向調査概要

- 調査期間 令和6年 9月2日～9月6日
- 調査対象期間 令和6年 7月～9月（実績・今期）
令和6年 10月～12月（予想・次期）
- 調査地域 苫小牧信用金庫の本店及び支店所在地（札幌圏を除く）
- 調査方法 アンケート用紙に基づく面談調査
- 分析方法 指数 D.I. (Diffusion Indexの頭文字) による分析

(件、%)

調査先数	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産業	合計
対象先数	36	26	72	59	18	53	5	12	281
回答数	31	24	56	54	17	46	5	11	244
回答率	86.1	92.3	77.8	91.5	94.4	86.8	100.0	91.7	86.8

第144回地域景気動向調査アンケート結果（令和6年7月～9月期）

《概況》 — 全業種業況判断指数は、前期比改善 ▲9.8 —

1. 令和6年7～9月期の全業種業況判断D.I.は「▲9.8」、前期（令和6年4～6月）から6.2ポイント改善した。業種別にみると、小売業・建設業・サービス業で前期比改善となった。地域別では、市部で前期比改善、郡部で前期比若干後退、白老地区で横這いであったが、千歳地区は後退した。
2. 売上額・収益面では、前年同期比売上額判断D.I.は「▲3.7」で前期から5.4ポイント改善。前年同期比収益判断D.I.は「▲10.7」で前期から7.0ポイント改善した。また、販売価格D.I.は「31.1」で前期から2.7ポイント下降。仕入価格D.I.も「50.4」で前期から8.5ポイント下降した。人手過不足D.I.は「▲36.9」で前期から4.0ポイント後退した。
3. 令和6年10～12月期（来期）の予想業況判断D.I.は「▲15.6」、今期から5.8ポイントの後退見通しとなった。業種別に見ると、製造業・建設業・運輸業・鉱業は改善、卸売業・小売業・サービス業・不動産業は後退の見通しとなった。地域別の見通しでは、市部は後退、郡部は改善、千歳地区・白老地区は後退の見通しとなった。

業種別業況判断指数（D.I.）の推移

《構成比（％）の差（「良い」-「悪い」）による指数》

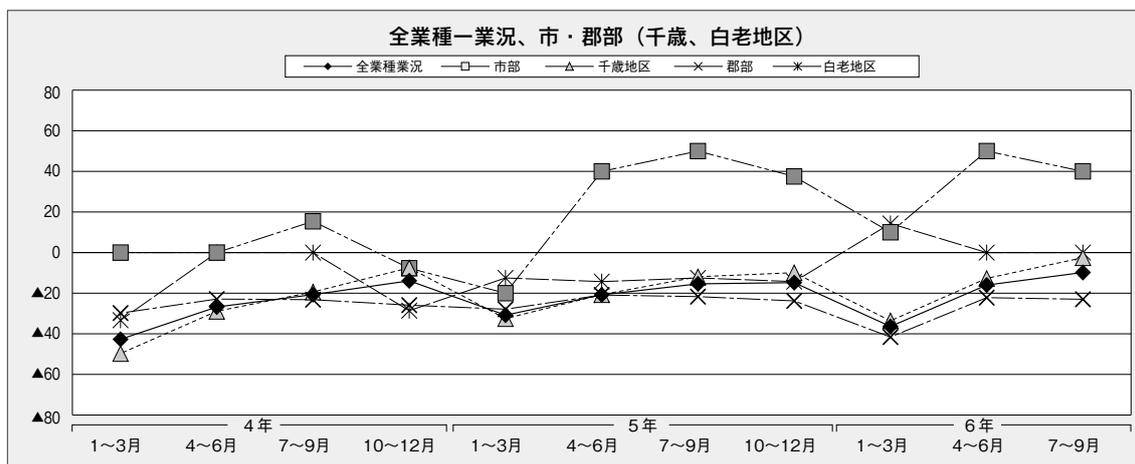
項目	令和4年		令和5年				令和6年			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月 予 想
全業種	▲20.7	▲13.9	▲30.8	▲20.8	▲15.4	▲14.8	▲36.4	▲16.0	▲9.8	▲15.6
市部	▲19.4	▲7.5	▲32.5	▲20.7	▲11.9	▲9.9	▲33.6	▲12.7	▲2.5	▲12.7
千歳地区	15.4	▲7.7	▲20.0	40.0	50.0	37.5	10.0	50.0	40.0	▲10.0
郡部	▲23.2	▲25.9	▲27.9	▲20.9	▲21.7	▲23.8	▲41.6	▲22.2	▲23.0	▲20.7
白老地区	0.0	▲28.6	▲12.5	▲14.3	▲12.5	▲14.3	14.3	0.0	0.0	▲12.5
製造業	▲15.6	▲10.0	▲23.3	0.0	▲3.3	▲17.9	▲29.2	▲12.9	▲19.4	▲16.1
卸売業	▲27.3	▲8.7	▲40.9	0.0	▲9.5	▲13.6	▲61.9	▲8.7	▲12.5	▲25.0
小売業	▲35.2	▲28.3	▲23.7	▲32.3	▲6.9	▲36.7	▲44.2	▲24.1	▲7.1	▲23.2
建設業	▲5.8	1.9	▲37.3	▲33.3	▲17.0	▲6.0	▲32.0	▲20.0	▲16.7	▲9.3
運輸業	▲50.0	▲5.6	▲37.5	▲33.3	▲47.1	11.8	▲29.4	0.0	▲23.5	▲5.9
サービス業	▲15.6	▲26.7	▲46.7	▲16.3	▲32.6	▲13.3	▲38.6	▲22.7	▲2.2	▲17.4
鉱業	60.0	20.0	20.0	▲40.0	50.0	66.7	33.3	66.7	60.0	80.0
不動産業	▲33.3	▲9.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲36.4

*▲はマイナス、少数点第2位四捨五入、以下文中数値、表、グラフすべて同じ。

全業種

— 業況判断指数、前期比6.2ポイント改善 —

回答事業所244件（回答率86.8%）



【全業種の業況判断】

全業種の今期業況判断（P 5 上段の表参照）は、「良い」とする企業20.1%に対して、「悪い」とする企業29.9%でD.I.は「▲9.8」、前期「▲16.0」（令和6年4～6月期）と比較して6.2ポイント改善した。

なお、今期の業況判断D.I.は、前回調査時における今期予想「▲13.0」（3.0ポイントの改善予想）を3.2ポイント上回った。

また、来期（令和6年10～12月）の予想業況判断は、「良い」とする企業15.1%、「悪い」とする企業30.7%でD.I.は「▲15.6」、今期に比べ5.8ポイント後退の見通しとなった。

全業種の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
全業種（244社）	▲ 9.8	6.2ポイント改善	↑	5.5ポイント改善	↑	▲ 15.6	5.8ポイント後退 ↓

■業種別

業種別では、小売業・建設業・サービス業で前期比改善、不動産業は横這い、製造業・卸売業・運輸業・鉱業で後退した。

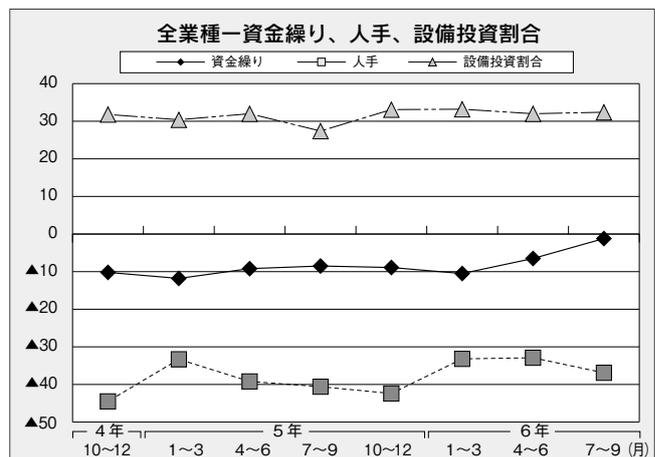
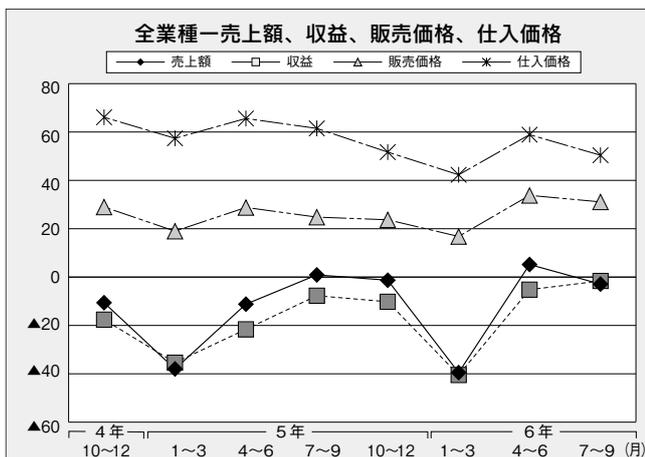
また、来期の予想業況判断D.I.は、製造業・建設業・運輸業・鉱業で改善見通し、卸売業・小売業・サービス業・不動産業で後退の見通しとなった。

業種別の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
製造業（31社）	▲ 19.4	6.5ポイント後退	↓	16.0ポイント後退	↓	▲ 16.1	3.3ポイント改善 ↑
卸売業（24社）	▲ 12.5	3.8ポイント後退	↓	3.0ポイント後退	↓	▲ 25.0	12.5ポイント後退 ↓
小売業（56社）	▲ 7.1	16.9ポイント改善	↑	0.2ポイント後退	↓	▲ 23.2	16.1ポイント後退 ↓
建設業（54社）	▲ 16.7	3.3ポイント改善	↑	0.3ポイント改善	↑	▲ 9.3	7.4ポイント改善 ↑
運輸業（17社）	▲ 23.5	23.5ポイント後退	↓	23.5ポイント改善	↑	▲ 5.9	17.6ポイント改善 ↑
サービス業（46社）	▲ 2.2	20.6ポイント改善	↑	30.4ポイント改善	↑	▲ 17.4	15.2ポイント後退 ↓
鉱業（5社）	60.0	6.7ポイント後退	↓	10.0ポイント改善	↑	80.0	20.0ポイント改善 ↑
不動産業（11社）	0.0	0.0ポイント横這	—	0.0ポイント横這	—	▲ 36.4	36.4ポイント後退 ↓

■地区別

地区別では、市部では前期比改善したが、郡部は若干の後退、千歳地区は後退となり、白老地区は横這いとなった。来期の予想業況判断D.I.は、郡部は改善見通しとなったが、市部及び千歳地区・白老地区は後退の見通しとなった。

地区別の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
市部（157社）	▲ 2.5	10.1ポイント改善	↑	9.4ポイント改善	↑	▲ 12.7	10.2ポイント後退 ↓
千歳地区（10社）	40.0	10.0ポイント後退	↓	10.0ポイント後退	↓	▲ 10.0	50.0ポイント後退 ↓
郡部（87社）	▲ 23.0	0.8ポイント後退	↓	1.3ポイント後退	↓	▲ 20.7	2.3ポイント改善 ↑
白老地区（8社）	0.0	0.0ポイント横這	—	12.5ポイント改善	↑	▲ 12.5	12.5ポイント後退 ↓



【売上等の状況】

- ・「売上額指数」は全業種「▲2.9」前期比8.1ポイント後退。千歳地区は「20.0」前期比30.0ポイント後退。白老地区は「▲25.0」前期比37.5ポイント後退した。業種別では小売業・サービス業・不動産業で前期比改善、製造業・卸売業・建設業・運輸業・鉱業で前期比後退となった。先行きは全業種「▲4.5」今期から1.6ポイント後退の見通しとなった。
- ・「対前年売上」は全業種「▲3.7」前期比5.4ポイント改善。業種別では製造業・小売業・運輸業・サービス業・不動産業で前期比改善、卸売業・建設業・鉱業は後退となった。
- ・「収益」は全業種「▲1.6」前期比3.6ポイント改善。千歳地区は「40.0」前期比横ばい。白老地区は「0.0」前期比横這いとなった。業種別では小売業・運輸業・サービス業・不動産業で前期比改善。先行きは全業種「▲6.1」今期より3.1ポイント後退の見通しとなった。
- ・「対前年収益」は全業種「▲10.7」前期比7.1ポイント改善。業種別に見ると製造業・小売業・運輸業・サービス業で前期比改善となった。
- ・「販売価格」は全業種「31.1」前期比2.6ポイント下降。業種別では運輸業横這い、サービス業上昇だったが、それ以外の業種は前期比下降となった。
- ・「仕入価格」は全業種「50.4」前期比8.5ポイント下降。業種別では卸売業・鉱業・不動産業で前期比上昇となったが、その他の業種はすべて下降した。
- ・「在庫数量」は全業種「▲2.8」前期比3.4ポイント後退。業種別では前期比で製造業が横這いの他、鉱業・不動産業で改善、卸売業・小売業・建設業で後退となった。
- ・「資金繰り」は全業種「▲1.2」前期比5.3ポイント改善。業種別では製造業で後退となったが他のすべての業種では改善となった。
- ・「残業時間」は全業種「▲7.4」前期比0.5ポイント後退。業種別に見ると建設業・運輸業・鉱業が増加となったが、その他の業種は前期比減少となった。
- ・「人手」は全業種「▲36.9」前期比4.0ポイント後退。業種別では小売業・運輸業・サービス業・不動産業で前期比改善、製造業・卸売業・建設業・鉱業では前期比後退となった。
- ・「設備の状況」は全業種「▲12.4」前期比0.2ポイント後退。業種別では卸売業・建設業・運輸業・サービス業で前期比改善、鉱業は横這い、製造業・小売業では前期比後退となった。
- ・「設備投資実施割合」は前期比0.4ポイント上昇し「32.4%」となった。

全業種アンケート調査指数(D.I.)の推移

	令和4年		令和5年				令和6年			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月予想
売上額	3.0	▲10.6	▲38.0	▲11.2	0.9	▲1.3	▲39.5	5.2	▲2.9	▲4.5
収益	▲12.2	▲17.6	▲35.4	▲21.6	▲7.7	▲10.2	▲40.5	▲5.2	▲1.6	▲6.1
販売価格	27.8	29.0	19.0	28.8	24.8	23.7	16.8	33.8	31.1	22.5
仕入価格	66.7	66.1	57.4	65.6	61.5	51.7	42.3	58.9	50.4	40.6
在庫数量	0.6	▲2.2	2.3	0.5	0.0	▲1.7	▲4.4	0.6	▲2.8	▲6.1
資金繰り	▲9.7	▲10.2	▲11.8	▲9.2	▲8.5	▲8.9	▲10.5	▲6.5	▲1.2	▲7.0
対前年売上	▲6.3	▲2.0	▲14.8	▲11.6	▲3.4	▲18.6	▲27.7	▲9.1	▲3.7	
対前年収益	▲17.3	▲20.0	▲26.6	▲22.4	▲15.4	▲23.3	▲31.4	▲17.7	▲10.7	
残業時間	▲0.8	▲3.3	▲14.3	▲9.2	▲7.3	▲2.1	▲18.6	▲6.9	▲7.4	▲9.0
人手	▲35.4	▲44.5	▲33.3	▲39.2	▲40.6	▲42.4	▲33.2	▲32.9	▲36.9	▲40.2
設備状況	▲9.6	▲13.2	▲15.8	▲10.8	▲12.8	▲14.2	▲14.2	▲12.2	▲12.4	▲14.2
設備投資割合	31.2	31.8	30.4	32.0	27.4	33.1	33.2	32.0	32.4	24.5

* 「在庫は運輸業、サービス業を除く6業種 * 「設備投資割合」は、不動産業を除く7業種の設備投資を実施した先の割合。

「経営上の問題点」・「経営上の重点施策」上位10項目 (令和6年7月～9月期調査)

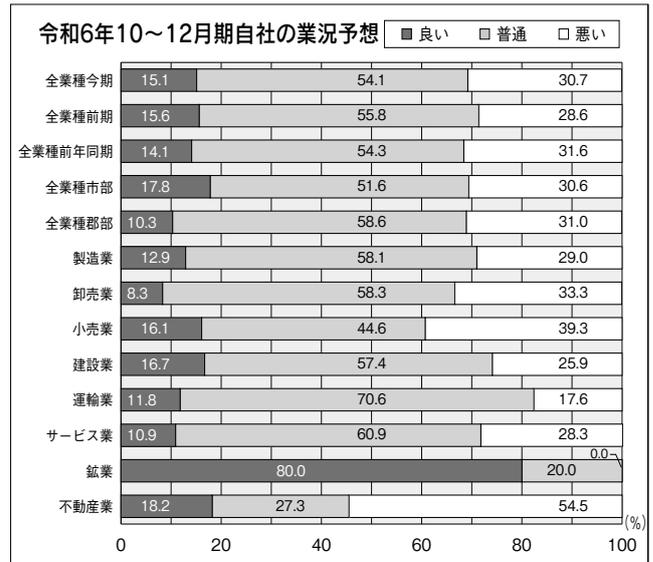
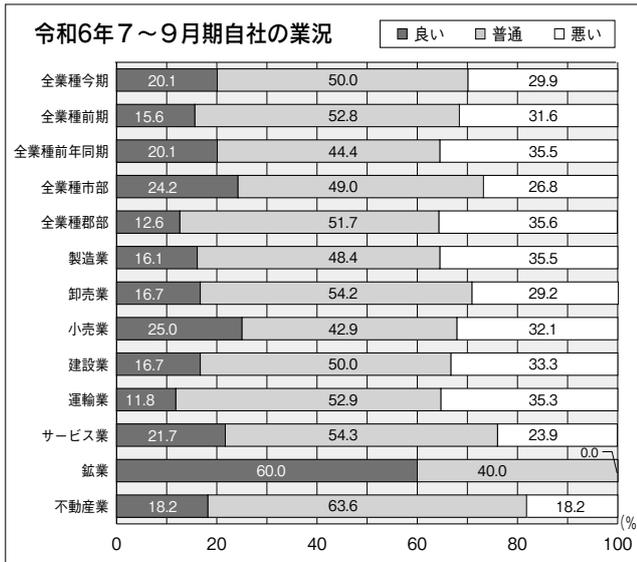
全業種・経営上の問題点	割合 (%)			全業種・経営上の重点施策	割合 (%)		
	市部	郡部	合計		市部	郡部	合計
材料価格の上昇 (原材料高)	36.4	50.0	41.2	経費を節減する	43.9	54.0	47.5
人手不足	40.1	39.1	39.8	人材を確保する	48.4	35.6	43.9
売上の停滞・減少	35.7	35.6	35.7	販路を広げる	27.4	14.9	23.0
人件費の増加	26.8	27.6	27.0	情報力を強化する	15.3	11.5	13.9
利幅の縮小	22.3	13.8	19.3	技術力を高める (強化する)	14.6	11.5	13.5
大型店との競争の激化	13.3	19.2	16.1	教育訓練を強化する	13.4	8.0	11.5
下請けの確保難	15.5	15.6	15.6	労働条件を改善 (良く) する	10.2	11.5	10.7
仕入先からの値上げ要請	18.8	8.5	14.7	特になし	8.3	13.8	10.2
商圏人口の減少	5.6	25.0	13.4	売れ筋商品を取り扱う	4.5	13.8	7.8
技術力の不足	11.5	15.4	12.8	品揃えを充実 (改善) する	8.3	6.9	7.8

景気動向調査主要指数(D.I.)の推移

	製 造 業					運 輸 業				
	5年10~12月	6年1~3月	6年4~6月	6年7~9月	6年10~12月予想	5年10~12月	6年1~3月	6年4~6月	6年7~9月	6年10~12月予想
売 上 額	7.1	▲ 54.2	6.5	▲ 12.9	▲ 6.5	5.9	▲ 52.9	29.4	17.6	5.9
収 益	▲ 7.1	▲ 62.5	0.0	0.0	▲ 6.5	▲ 11.8	▲ 29.4	11.8	23.5	0.0
販 売 価 格	21.4	8.3	35.5	22.6	19.4	11.8	5.9	35.3	35.3	11.8
仕 入 価 格	39.3	41.7	58.1	41.9	32.3	35.3	17.6	47.1	29.4	23.5
在 庫 数 量	▲ 3.6	▲ 12.5	▲ 3.2	▲ 3.2	▲ 16.1					
資 金 繰 り	▲ 10.7	▲ 20.8	▲ 6.5	▲ 16.1	▲ 19.4	5.9	▲ 11.8	0.0	17.6	5.9
前年比売上	▲ 17.9	0.0	▲ 9.7	▲ 3.2		▲ 17.6	▲ 35.3	▲ 17.6	17.6	
前年比収益	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 16.1	3.2		▲ 17.6	▲ 41.2	▲ 5.9	17.6	
残 業 時 間	▲ 10.7	▲ 29.2	▲ 12.9	▲ 16.1	▲ 9.7	5.9	▲ 17.6	▲ 11.8	▲ 5.9	▲ 5.9
人 手	▲ 28.6	▲ 45.8	▲ 29.0	▲ 32.3	▲ 41.9	▲ 82.4	▲ 70.6	▲ 76.5	▲ 64.7	▲ 76.5
設 備 状 況	▲ 10.7	▲ 20.8	▲ 6.5	▲ 16.1	▲ 22.6	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 17.6	▲ 5.9	▲ 23.5
	卸 売 業					サ ー ビ ス 業				
売 上 額	13.6	▲ 66.7	52.2	12.5	▲ 4.2	▲ 15.6	▲ 38.6	▲ 9.1	4.3	▲ 8.7
収 益	13.6	▲ 57.1	34.8	16.7	8.3	▲ 35.6	▲ 45.5	▲ 15.9	▲ 4.3	▲ 17.4
販 売 価 格	50.0	23.8	43.5	33.3	33.3	13.3	18.2	22.7	28.3	19.6
仕 入 価 格	45.5	42.9	52.2	54.2	41.7	60.0	63.6	61.4	58.7	56.5
在 庫 数 量	4.5	14.3	13.0	4.2	▲ 12.5					
資 金 繰 り	▲ 13.6	▲ 28.6	0.0	0.0	▲ 4.2	▲ 11.1	▲ 4.5	0.0	2.2	▲ 2.2
前年比売上	▲ 22.7	▲ 28.6	17.4	▲ 8.3		▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 15.9	2.2	
前年比収益	▲ 9.1	▲ 23.8	17.4	0.0		▲ 35.6	▲ 34.1	▲ 31.8	▲ 8.7	
残 業 時 間	▲ 13.6	▲ 14.3	4.3	▲ 4.2	▲ 4.2	4.4	▲ 11.4	0.0	▲ 10.9	▲ 8.7
人 手	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 8.7	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 48.9	▲ 43.2	▲ 45.5	▲ 41.3	▲ 45.7
設 備 状 況	▲ 13.6	▲ 14.3	▲ 8.7	▲ 4.2	▲ 4.2	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 22.7	▲ 17.4	▲ 15.2
	小 売 業					鉱 業				
売 上 額	▲ 11.7	▲ 34.6	▲ 22.2	▲ 19.6	▲ 17.9	33.3	▲ 100.0	100.0	40.0	80.0
収 益	▲ 18.3	▲ 42.3	▲ 33.3	▲ 10.7	▲ 10.7	66.7	▲ 66.7	100.0	40.0	80.0
販 売 価 格	28.3	23.1	38.9	37.5	28.6	66.7	0.0	66.7	40.0	40.0
仕 入 価 格	58.3	30.8	57.4	42.9	33.9	33.3	0.0	33.3	80.0	60.0
在 庫 数 量	1.7	▲ 1.9	3.7	1.8	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 20.0
資 金 繰 り	▲ 20.0	▲ 17.3	▲ 20.4	▲ 12.5	▲ 16.1	66.7	33.3	33.3	40.0	0.0
前年比売上	▲ 26.7	▲ 44.2	▲ 22.2	▲ 17.9		66.7	66.7	100.0	20.0	
前年比収益	▲ 30.0	▲ 46.2	▲ 40.7	▲ 28.6		66.7	66.7	100.0	0.0	
残 業 時 間	▲ 3.3	▲ 19.2	▲ 11.1	▲ 12.5	▲ 19.6	66.7	0.0	0.0	40.0	0.0
人 手	▲ 28.3	▲ 26.9	▲ 22.2	▲ 16.1	▲ 19.6	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 40.0
設 備 状 況	▲ 11.7	▲ 9.6	▲ 13.0	▲ 19.6	▲ 19.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建 設 業					不 動 産 業				
売 上 額	0.0	▲ 24.0	10.0	▲ 7.4	7.4	36.4	▲ 11.1	11.1	18.2	▲ 27.3
収 益	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 4.0	▲ 16.7	▲ 5.6	36.4	▲ 11.1	22.2	27.3	▲ 18.2
販 売 価 格	16.0	18.0	28.0	27.8	16.7	36.4	0.0	44.4	36.4	27.3
仕 入 価 格	58.0	52.0	70.0	59.3	44.4	27.3	11.1	44.4	45.5	27.3
在 庫 数 量	▲ 2.0	▲ 2.0	2.0	▲ 1.9	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 18.2
資 金 繰 り	0.0	2.0	0.0	5.6	▲ 1.9	▲ 9.1	▲ 11.1	▲ 33.3	0.0	0.0
前年比売上	▲ 24.0	▲ 42.0	▲ 8.0	▲ 9.3		45.5	11.1	11.1	36.4	
前年比収益	▲ 30.0	▲ 32.0	▲ 16.0	▲ 22.2		45.5	22.2	22.2	18.2	
残 業 時 間	▲ 8.0	▲ 28.0	▲ 16.0	▲ 1.9	0.0	18.2	11.1	33.3	0.0	▲ 8.2
人 手	▲ 56.0	▲ 18.0	▲ 34.0	▲ 57.4	▲ 57.4	▲ 36.4	▲ 44.4	▲ 22.2	▲ 9.1	0.0
設 備 状 況	▲ 14.0	▲ 14.0	▲ 6.0	▲ 5.6	▲ 5.6					

* 各項目選択肢の構成比 (%) の差による指数。選択肢は項目ごとに異なる。

「業況判断」(D.I.)の回答の内訳



製造業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲19.4 —

回答事業所31件 (回答率86.1%)

管内製造業31社による業況判断指数は「▲19.4」、前期比6.5ポイント後退し、前年同期比でも16.0ポイント後退した。

地域別では、市部が「0.0」前期比横ばい、郡部は「▲54.5」前期比18.2ポイント後退した。

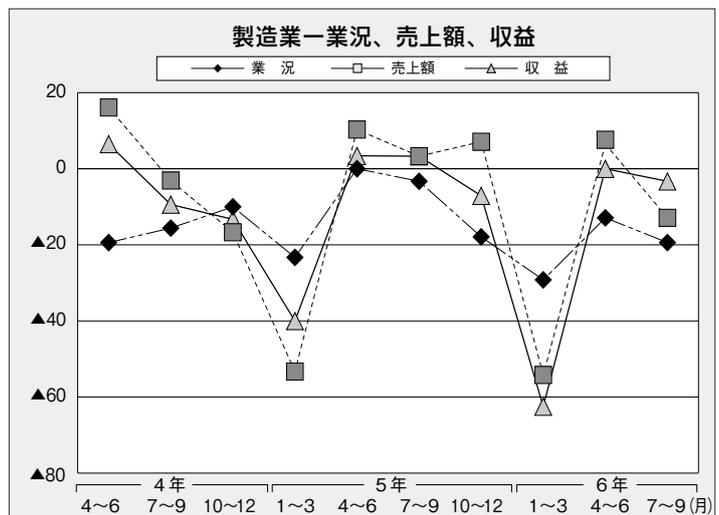
売上額指数は「▲12.9」、前期比19.4ポイント後退し、前年同期比でも16.2ポイント後退した。

収益指数は「0.0」、前期比横ばいであったが、前年同期比では3.3ポイント後退した。

業況判断指数は1頁の表参照

売上額指数、収益指数は4頁の表参照

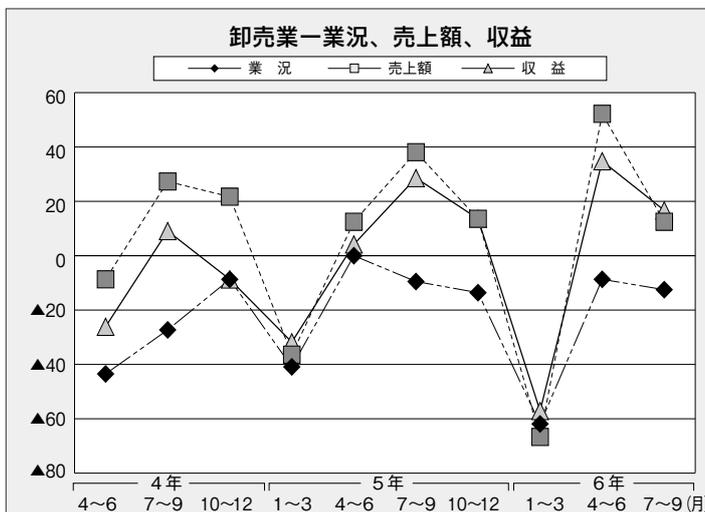
以下各業種とも同じ



卸売業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲12.5 —

回答事業所24件 (回答率92.3%)



管内卸売業24社による業況判断指数は「▲12.5」、前期比3.8ポイント後退し、前年同期比でも3.0ポイント後退した。

地域別では、市部が「0.0」、前期比11.1ポイント改善、郡部は「▲50.0」前期比50.0ポイントで大幅に後退した。

売上額指数は「12.5」、前期比39.7ポイント後退、前年同期比でも25.6ポイント後退した。

収益指数は「16.7」、前期比18.1ポイント後退、前年同期比でも11.9ポイント後退した。

小売業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲7.1 —

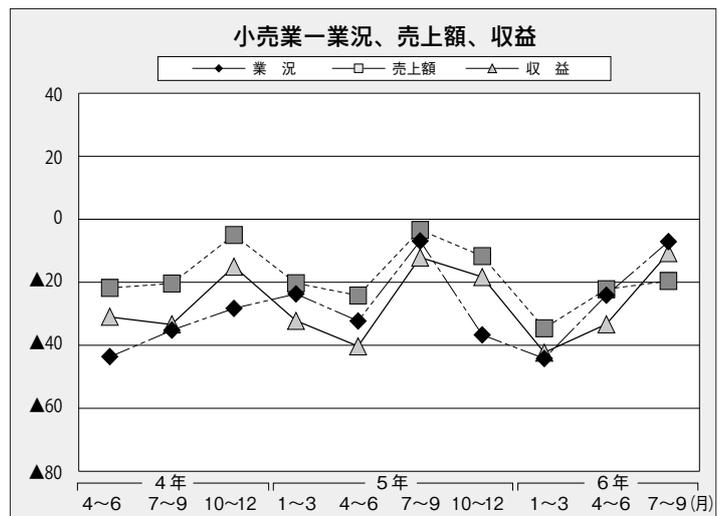
回答事業所56件 (回答率77.8%)

管内小売業56社による業況判断指数は「▲7.1」、前期比16.9ポイント改善、前年同期比は0.2ポイントの若干の後退となった。

地域別では、市部が「10.0」前期比24.3ポイント改善、郡部も「▲26.9」前期比7.7ポイント改善した。

売上額指数は「▲19.6」、前期比2.6ポイント改善、前年同期比では16.2ポイント後退した。

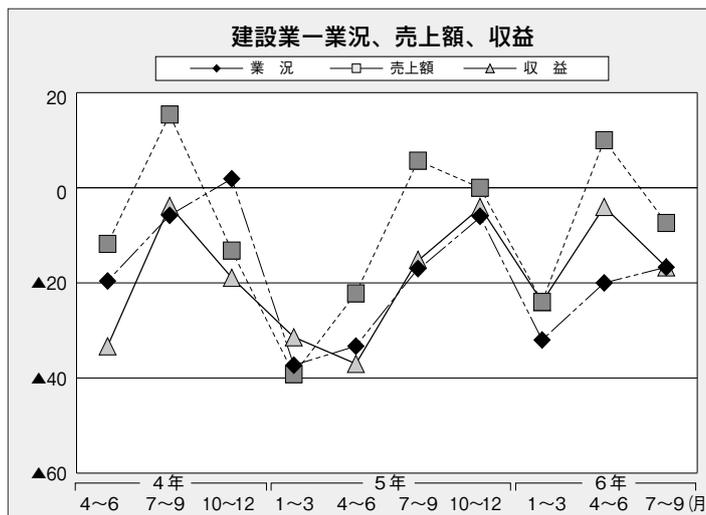
収益指数は「▲10.7」、前期比22.6ポイント改善、前年同期比でも1.4ポイント改善した。



建設業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲16.7 —

回答事業所54件 (回答率91.5%)



管内建設業54社による業況判断指数は「▲16.7」、前期比3.3ポイント改善、前年同期比でも0.3ポイント若干ながら改善した。

地域別では、市部が「▲13.5」前期比5.9ポイント改善、郡部は「▲23.5」前期比2.1ポイント後退した。

売上額指数は「▲7.4」、前期比17.4ポイント後退、前年同期比でも13.1ポイント後退した。

収益指数は「▲16.7」、前期比12.7ポイント後退、前年同期比でも1.6ポイント後退した。

運輸業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲23.5 —

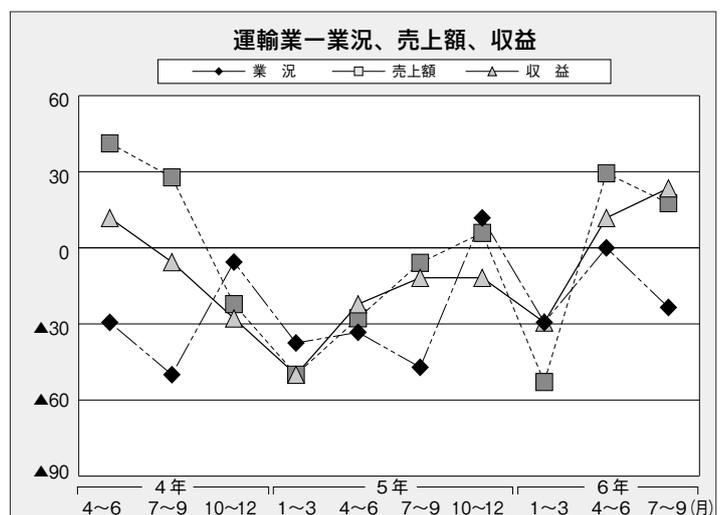
回答事業所17件 (回答率94.4%)

管内運輸業17社による業況判断指数は「▲23.5」、前期比23.5ポイント後退、前年同期比は23.5ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲33.3」前期比33.3ポイント後退、郡部も「▲12.5」前期比12.5ポイント後退した。

売上額指数は「17.6」、前期比11.8ポイント後退、前年同期比では23.5ポイント改善した。

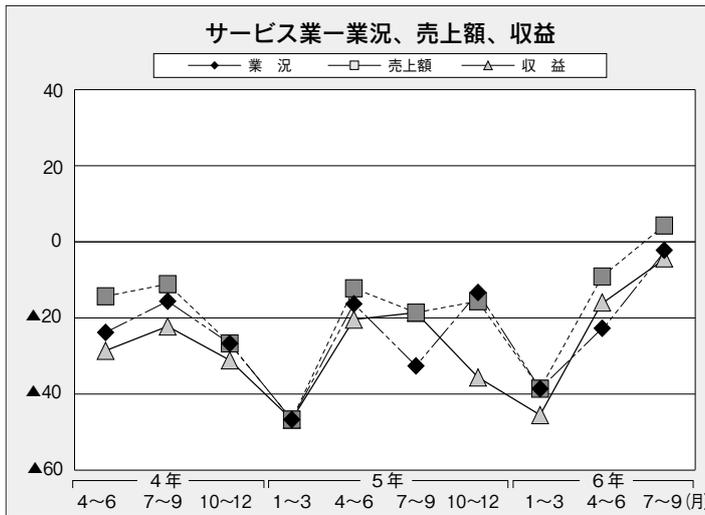
収益指数は「23.5」、前期比11.8ポイント改善、前年同期比でも35.3ポイント改善した。



サービス業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲2.2 —

回答事業所46件（回答率86.8%）



管内サービス業46社による業況判断指数は「▲2.2」、前期比20.6ポイント改善し、前年同期比でも30.4ポイント改善した。

地域別では、市部が「0.0」前期比19.4ポイント改善、郡部も「▲7.1」前期比23.6ポイント改善した。

売上額指数は「4.3」、前期比13.4ポイント改善、前年同期比でも23.0ポイント改善した。

収益指数は「▲4.3」、前期比11.6ポイント改善、前年同期比でも14.3ポイント改善した。

鉱業

— 業況判断指数 前期比後退 60.0 —

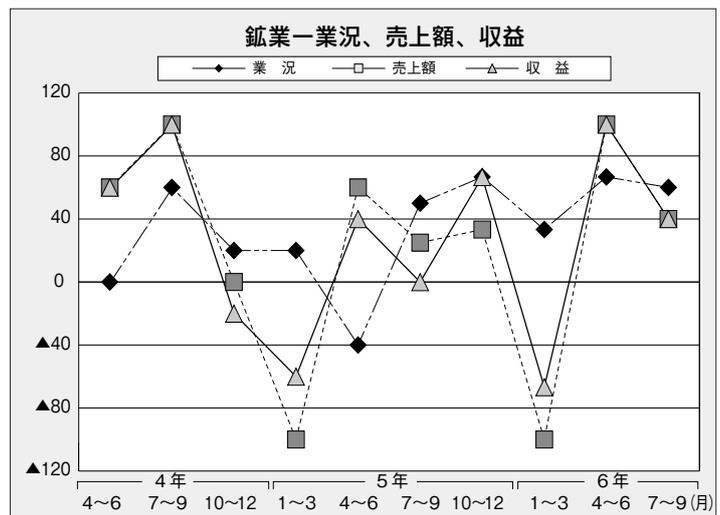
回答事業所5件（回答率100.0%）

管内鉱業5社による業況判断指数は「60.0」、前期比6.7ポイント後退、前年同期比では10.0ポイント改善した。

地域別では、市部が「100.0」前期は回答なし、郡部が「50.0」前期比16.7ポイント後退した。

売上額指数は「40.0」前期比60.0ポイント後退、前年同期比では15.0ポイント改善した。

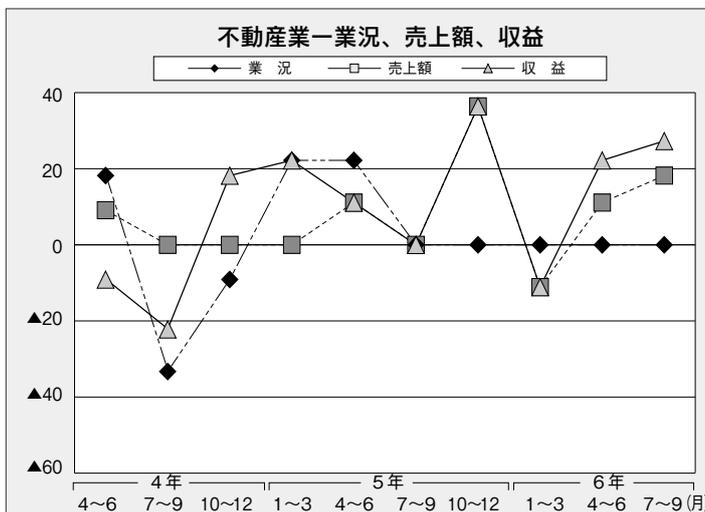
収益指数は「40.0」前期比60.0ポイント後退、前年同期比は40.0ポイント改善した。



不動産業

— 業況判断指数 前期比横這い 0.0 —

回答事業所11件（回答率91.7%）



管内不動産業11社による業況判断指数は「0.0」、前期比横這いとなり、前年同期比でも横這いであった。

地域別では、市部が「0.0」前期比横這い、郡部も「0.0」前期比横這いとなった。

売上額指数は「18.2」、前期比7.1ポイント改善、前年同期比でも18.2ポイント改善となった。

収益指数は「27.3」前期比5.1ポイント改善、前年同期比でも27.3ポイント改善した。

特別調査アンケート結果

～中小企業におけるデジタル化と
キャッシュレスへの対応について～

問1 事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットや電子メールを利用していますか。

◎インターネット・電子メールともに8割以上が利用

「インターネットを利用し、自社ホームページも開設」先は全業種244先中半数の122先となっており、市部で58.0%、郡部で35.6%であった。業種別ではサービス業46先中31先の67.4%、不動産業63.6%と6割を超えた。その中で特にサービス業の市部で78.1%、小売業の市部で66.7%と高い利用率となっている。

電子メール利用では、244先のうち197先が利用、市部86.0%、郡部71.3%と市部・郡部とも高い利用率となっている。

一方、インターネット・電子メールとも「利用することは考えていない」先は総じて少なく、1割程度であった。

単位：%

インターネット・電子メールの利用		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
インターネット	利用しており、自社ホームページも開設	50.0	54.8	33.3	46.4	51.9	23.5	67.4	20.0	63.6
	利用しているが、自社ホームページは未開設	35.7	32.3	50.0	39.3	33.3	52.9	19.6	60.0	36.4
	利用していないが、今後利用したい	6.1	6.5	0.0	5.4	9.3	11.8	6.5	0.0	0.0
	利用することは考えていない	8.2	6.5	16.7	8.9	5.6	11.8	6.5	20.0	0.0
電子メール	利用している	80.7	93.5	79.2	66.1	92.6	64.7	84.8	60.0	81.8
	利用していないが、今後利用したい	9.0	0.0	4.2	17.9	5.6	17.6	6.5	20.0	9.1
	利用することは考えていない	10.2	6.5	16.7	16.1	1.9	17.6	8.7	20.0	9.1

問2 インターネットバンキングを契約していますか。契約している理由、契約していない理由をお答えください。

◎「契約している」が全業種で72.1%

契約している理由として、「金融機関の店舗に行く必要がない」が最も多く26.2%。次いで「社内全体のIT化・事務負担軽減」20.5%、「残高管理が容易である」が14.8%であった。業種別では8業種中6業種が7割以上契約しているとしているなか、小売業58.9%、サービス業63.0%と少なかった。

契約していない理由としては、「セキュリティに不安がある」「利用する機会がない」が目立った。

単位：%

インターネットバンキングを契約している又はしていない理由		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
契約している	夜間や休日でも利用できる	9.4	9.7	4.2	10.7	3.7	11.8	13.0	60.0	0.0
	社内全体のIT化・事務負担軽減	20.5	22.6	20.8	25.0	13.0	29.4	19.6	0.0	27.3
	残高管理が容易である	14.8	9.7	16.7	8.9	29.6	11.8	6.5	0.0	27.3
	金融機関の店舗に行く必要がない	26.2	45.2	33.3	14.3	29.6	23.5	19.6	40.0	27.3
	契約しているがほぼ使っていない	1.2	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	4.3	0.0	0.0
契約していない	金融機関職員が訪問するから不要	2.0	0.0	0.0	1.8	1.9	5.9	4.3	0.0	0.0
	パスワード管理等操作が面倒	2.5	3.2	0.0	1.8	1.9	0.0	4.3	0.0	9.1
	セキュリティに不安がある	7.0	3.2	4.2	8.9	3.7	0.0	15.2	0.0	9.1
	利用する機会がない	11.5	0.0	8.3	19.6	14.8	17.6	8.7	0.0	0.0
インターネット利用環境がない	4.9	6.5	12.5	8.9	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	

問3 7月に実施された新紙幣の発行に伴い、貴社では何らかの対応(設備投資など)を実施しましたか。また新紙幣導入を機にキャッシュレス支払手段の導入または強化をしましたか。

◎「新紙幣発行に伴う対応」「キャッシュレス支払手段の導入強化」とともに実施先少ない

新紙幣発行に伴う対応は、「対応した」と「対応の必要性を感じているがまだ対応していない」を合わせても13.1%であった。「キャッシュレス支払手段の導入・強化」については、全業種で「既に導入済でさらに強化した」8.2%、「既に導入済で強化はしていない」が30.3%であったが、特に小売業で「既に導入済」の先が75.0%(調査56先中42先)と目立って多く、次いでサービス業の「既に導入済」先が52.1%と多かった。

単位：%

新紙幣発行に伴う対応・キャッシュレス支払手段の導入強化		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
新紙幣発行に伴う対応	対応した	7.0	6.5	4.2	8.9	1.9	23.5	6.5	0.0	9.1
	対応の必要性を感じているがまだ対応していない	6.1	3.2	8.3	10.7	3.7	5.9	4.3	0.0	9.1
	対応の必要性を感じていない	86.9	90.3	87.5	80.4	94.4	70.6	89.1	100.0	81.8
キャッシュレス支払手段	既に導入済でさらに強化した	8.2	6.5	4.2	19.6	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0
	既に導入済で強化はしていない	30.3	9.7	20.8	55.4	22.2	5.9	39.1	0.0	36.4
	新たに導入した	1.2	3.2	0.0	0.0	1.9	5.9	0.0	0.0	0.0
	導入していない	60.2	80.6	75.0	25.0	75.9	88.2	47.8	100.0	63.6

問4 取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。

◎クレジットカード・口座振替(自動引落)サービスが最も多い活用

「クレジットカード」42.6%、「口座振替」42.2%と、一般的に知られている支払手段が押しなべて普及している。以下「QRコード決済」15.2%、「電子マネー」12.7%、「電子記録債権」11.9%となった。

業種別では、「クレジットカード」が小売業で80.4%、サービス業で56.5%と突出して高かった。「口座振替」は全業種平均して利用されている。

一方で「活用していない・関係ない」も全業種で27.0%(244先中66先)と一定数の割合があった。

(最大3つまで回答) 単位：%

キャッシュレス支払手段	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
クレジットカード	42.6	19.4	20.8	80.4	22.2	29.4	56.5	0.0	45.5
デビットカード	1.6	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
QRコード決済	15.2	6.5	8.3	33.9	0.0	11.8	23.9	0.0	9.1
電子マネー(交通系・流通系)	12.7	6.5	16.7	26.8	1.9	0.0	15.2	0.0	18.2
プリペイドカード	2.0	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
デジタル通貨(地域電子通貨・暗号資産)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0
口座振替(自動引落)サービス	42.2	61.3	37.5	35.7	50.0	35.3	30.4	40.0	54.5
電子記録債権(でんさい等)	11.9	22.6	16.7	3.6	18.5	11.8	2.2	60.0	0.0
その他	1.2	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0
活用していない・関係ない	27.0	22.6	37.5	8.9	38.9	41.2	23.9	40.0	36.4

問5 問4で挙げたキャッシュレス支払手段について、導入している方は感じている不満を、導入していない方はその理由をお答えください。

◎「不満などない」が41.4%で最も多い

意外にも「不満などない」が最も多い結果となった。小売業・サービス業を除く6業種で割合が最多となり、次いで「手数料が高い」が31.6%。小売業・サービス業で「手数料が高い」がそれぞれ51.8%、47.8%で最も多かった。以下「災害や障害時に利用不能になる」16.0%、「セキュリティが不安」13.9%、という安全・安心面での懸念を挙げる声もあった。

(最大3つまで回答) 単位：%

問4について導入している方の不満・していない理由	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
初期費用が高い	2.9	0.0	4.2	5.4	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0
手数料が高い	31.6	19.4	29.2	51.8	16.7	0.0	47.8	0.0	36.4
セキュリティが不安	13.9	12.9	4.2	8.9	18.5	23.5	15.2	20.0	18.2
決済手段が多すぎて何をを使うべきかわからない	5.3	3.2	8.3	5.4	3.7	0.0	8.7	0.0	9.1
キャッシュレスに対応していない取引先がある	8.6	16.1	20.8	5.4	5.6	5.9	4.3	20.0	9.1
災害や障害時に利用不能になる	16.0	12.9	12.5	21.4	14.8	5.9	17.4	20.0	18.2
現金化までに時間がかかる	11.9	16.1	0.0	21.4	7.4	0.0	6.5	20.0	36.4
個人情報などのデータ管理が煩雑	4.5	6.5	0.0	1.8	5.6	5.9	8.7	0.0	0.0
わかる人がいない	8.6	9.7	16.7	5.4	9.3	17.6	4.3	20.0	0.0
不満などない	41.4	35.5	45.8	28.6	55.6	58.8	37.0	40.0	36.4

管内主要経済統計

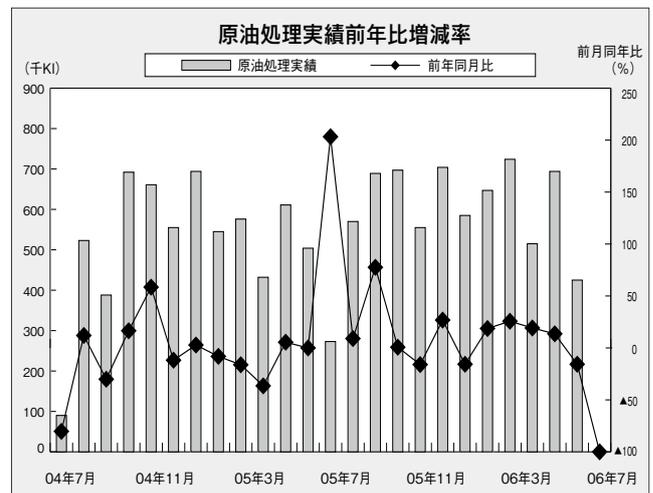
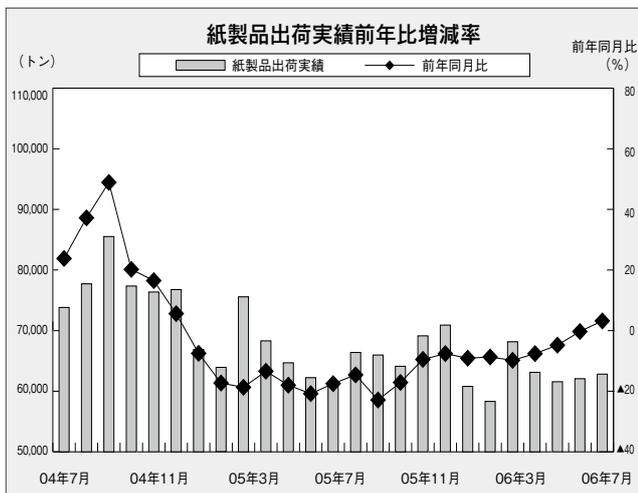
1. 製造業の状況

主要製造業生産動向

(単位：比%)

	紙製品出荷実績 トン	前年 同月比	原油処理実績 千kl	前年 同月比		紙製品出荷実績 トン	前年 同月比	原油処理実績 千kl	前年 同月比
05年07月	60,908	▲ 17.5	273	203.3	06年02月	58,320	▲ 8.7	647	18.7
05年08月	66,399	▲ 14.6	570	9.0	06年03月	68,161	▲ 9.8	724	25.7
05年09月	65,972	▲ 22.9	689	—	06年04月	63,120	▲ 7.6	515	19.2
05年10月	64,114	▲ 17.1	697	0.7	06年05月	61,568	▲ 4.8	694	13.6
05年11月	69,139	▲ 9.5	555	▲ 16.0	06年06月	62,068	▲ 0.3	425	▲ 15.7
05年12月	70,909	▲ 7.6	704	26.8	06年07月	62,836	3.2	0	▲ 100.0
06年01月	60,796	▲ 9.1	585	▲ 15.7					

*資料出所 … 苫小牧商工会議所調査月報



2. 土木・建設の状況

① 公共工事

(単位：百万円・%)

	苫小牧市		室蘭建設管理部		室蘭開発建設部	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
05年07月	984	98.8	1,535	150.4	1,893	▲ 32.5
05年08月	861	35.4	1,156	11.5	1,104	76.1
05年09月	648	2.4	2,476	248.2	941	37.0
05年10月	841	151.8	292	183.5	1,517	▲ 56.8
05年11月	246	▲ 37.7	114	▲ 72.7	177	▲ 26.9
05年12月	0	▲ 100.0	13	▲ 95.6	0	▲ 100.0
06年01月	8	100.0	30	▲ 3.2	0	▲ 100.0
06年02月	0	▲ 100.0	12	▲ 7.7	612	198.5
06年03月	512	▲ 22.9	1,012	▲ 5.4	5,492	26.3
06年04月	148	▲ 83.3	442	18.2	5,091	▲ 6.8
06年05月	1,567	51.0	289	▲ 50.4	2,868	▲ 34.8
06年06月	1,448	▲ 59.2	304	▲ 62.6	3,108	▲ 34.1
06年07月	1,128	14.6	1,835	19.5	937	▲ 50.5

*資料出所 … 苫小牧市、苫小牧商工会議所調査月報

② 建築確認申請・住宅着工

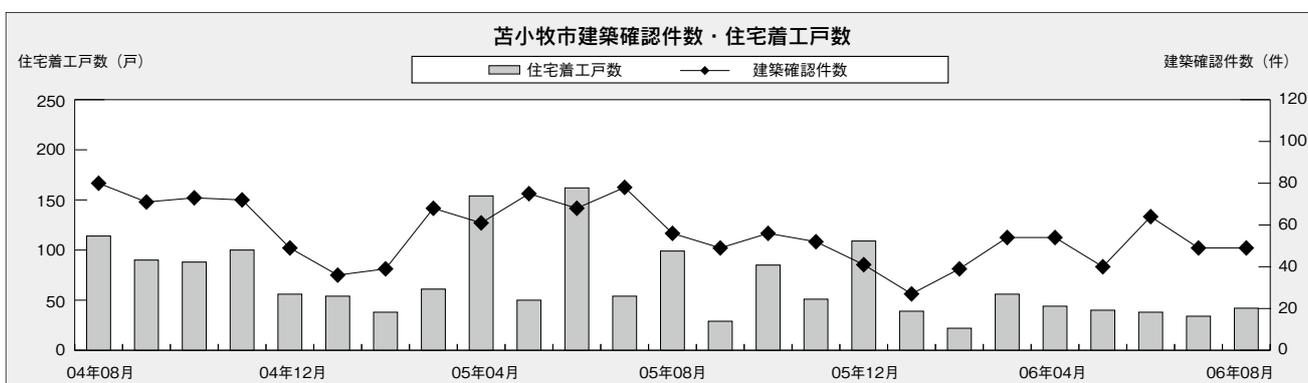
苫小牧市建築確認申請件数・住宅着工戸数

	建築確認件数		住宅着工戸数	
	件数	前年比(%)	戸数	前年比(%)
05年08月	56	▲30.0	99	▲13.2
05年09月	49	▲31.0	29	▲67.8
05年10月	56	▲23.3	85	▲3.4
05年11月	52	▲27.8	51	▲49.0
05年12月	41	▲16.3	109	94.6
06年01月	27	▲25.0	39	▲27.8
06年02月	39	0.0	22	▲42.1
06年03月	54	▲20.6	56	▲8.2
06年04月	54	▲11.5	44	▲71.4
06年05月	40	▲46.7	40	▲20.0
06年06月	64	▲4.0	38	▲5.0
06年07月	49	▲29.0	34	▲110.0
06年08月	49	▲7.0	42	▲10.0

管内建築確認申請件数・住宅着工戸数（6年6月～6年8月）

	建築確認申請件数		住宅着工戸数	
	件数	前年差異	戸数	前年差異
苫小牧市	162	▲40	114	▲125
千歳市	93	0		
白老町	9	▲5	8	▲3
厚真町	5	5	3	3
安平町	0	▲3	2	▲3
むかわ町	8	▲6	2	▲5
日高町	7	▲3	5	▲2
平取町	0	▲3	4	1
新冠町	0	0	4	2
新ひだか町	9	6	5	4

建築確認件数は、指定確認検査機関の受付件数を加えて掲載しております。



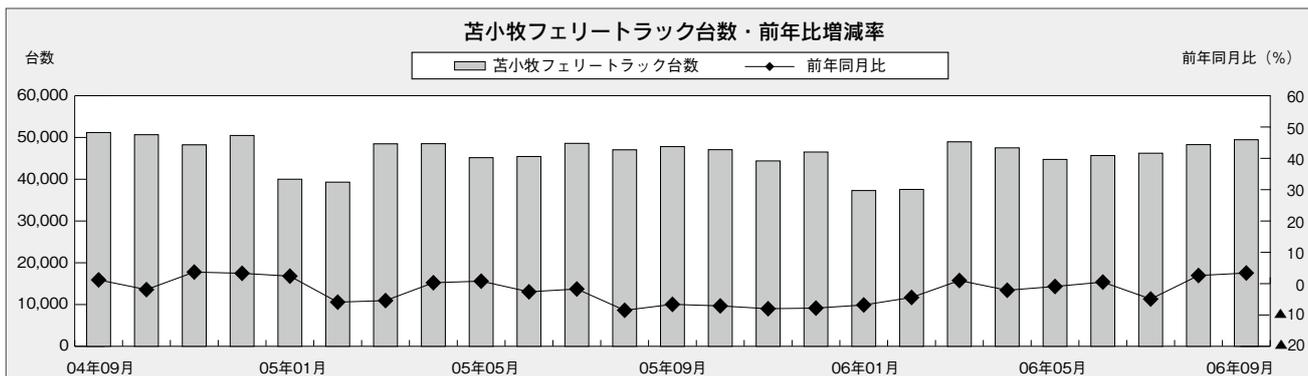
3. 海運・運輸の状況

① 苫小牧港フェリー運航状況

(単位：比%)

	航海数		乗用車		トラック		バス		自動2輪		旅客	
	便	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	人	前年比
05年09月	552	▲5.3	25,537	6.3	47,808	▲6.6	141	67.9	6,238	▲0.4	77,221	6.1
05年10月	559	▲8.7	22,778	3.5	47,072	▲7.1	104	40.5	1,857	13.6	67,494	15.1
05年11月	534	▲10.6	16,746	3.6	44,385	▲8.0	119	43.4	458	42.2	49,892	10.2
05年12月	546	▲6.7	16,360	5.6	46,516	▲7.8	109	4.8	257	36.7	51,531	3.6
06年01月	457	▲7.7	14,588	▲1.2	37,290	▲6.8	116	52.6	213	0.5	48,216	7.6
06年02月	465	▲1.1	12,287	9.2	37,558	▲4.4	120	▲20.5	158	▲23.3	41,052	9.3
06年03月	555	▲3.0	21,860	7.7	48,952	1.0	206	32.9	317	▲17.4	66,757	7.8
06年04月	551	1.1	22,648	2.2	47,514	▲2.1	114	▲0.9	1,515	9.9	62,652	5.9
06年05月	583	▲1.7	24,386	▲3.0	44,746	▲0.9	98	▲48.1	3,035	2.6	73,022	▲5.6
06年06月	559	1.6	24,903	6.9	45,670	0.5	130	12.1	5,020	18.3	69,334	8.0
06年07月	540	▲10.6	27,704	▲6.1	46,232	▲4.9	209	▲48.4	7,794	▲8.7	85,655	▲11.1
06年08月	594	6.1	34,691	▲3.5	48,284	2.6	232	▲34.5	8,648	▲11.2	116,552	▲4.9
06年09月	596	8.0	27,547	7.9	49,455	3.4	144	2.1	7,107	13.9	85,685	11.0

*資料出所 … 北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所 *上り・下り便の合計 *トラックはシャーシのみを含む

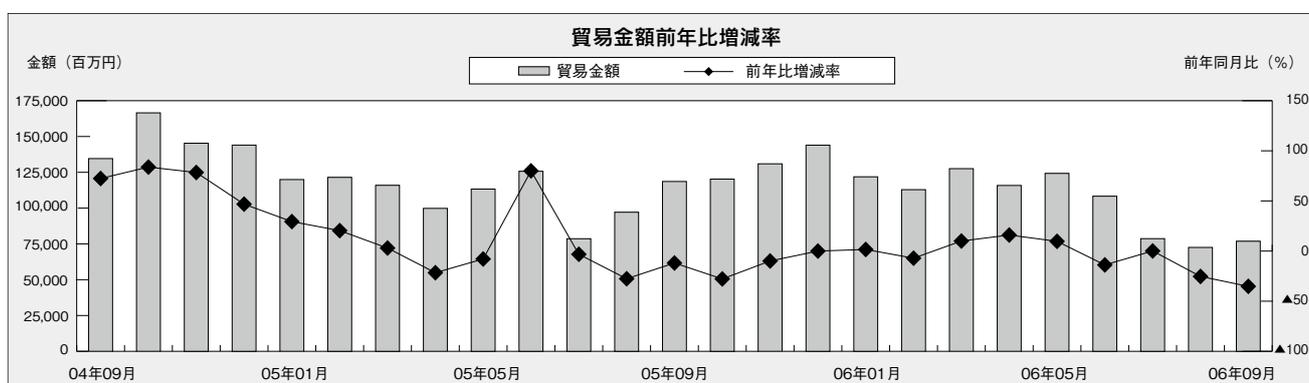


② 貿易実績

(単位：百万円・%)

	輸 出		輸 入		貿易金額合計	
	金 額	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
05年09月	17,287	▲54.9	101,306	5.2	118,594	▲11.9
05年10月	17,913	▲24.3	102,354	▲28.4	120,267	▲27.8
05年11月	21,681	30.2	109,249	▲15.1	130,930	▲9.9
05年12月	19,091	15.8	124,867	▲2.1	143,957	▲0.0
06年01月	15,168	47.5	106,694	▲2.7	121,862	1.6
06年02月	27,260	83.4	85,624	▲19.7	112,883	▲7.1
06年03月	19,099	30.4	108,443	7.1	127,542	10.0
06年04月	17,701	▲24.5	98,120	28.5	115,821	16.0
06年05月	14,570	▲15.3	109,672	14.1	124,241	9.7
06年06月	28,761	59.9	79,562	▲26.1	108,324	▲13.8
06年07月	17,873	▲1.7	60,810	0.6	78,683	0.1
06年08月	17,017	20.4	55,530	▲33.1	72,546	▲25.3
06年09月	18,920	9.4	57,943	▲42.8	76,863	▲35.2

*資料出所 … 函館税関苫小牧税関支署 (速報値)

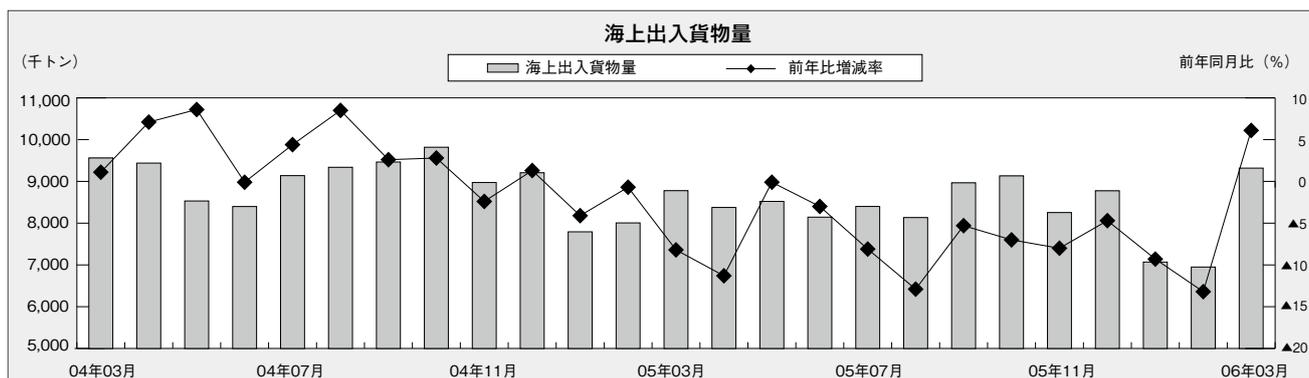


③ 苫小牧港港湾荷役取扱状況 (重量)

(単位：千トン・%)

	輸 出	前年比	輸 入	前年比	移 出	前年比	移 入	前年比	合 計	前年比
05年03月	56	▲42.0	1,367	7.4	3,622	▲11.1	3,733	▲9.3	8,778	▲8.2
05年04月	148	51.9	915	▲33.0	3,580	▲10.1	3,733	▲6.5	8,376	▲11.3
05年05月	81	▲5.0	1,661	61.3	3,399	▲8.5	3,380	▲8.7	8,521	▲0.1
05年06月	74	▲1.4	853	24.3	3,577	▲2.3	3,640	▲8.4	8,144	▲3.0
05年07月	78	▲51.1	823	▲2.0	3,730	▲3.8	3,769	▲11.5	8,400	▲8.1
05年08月	46	▲78.4	910	▲18.7	3,565	▲9.8	3,613	▲10.8	8,134	▲12.9
05年09月	62	▲74.4	1,521	22.4	3,681	▲6.1	3,703	▲8.8	8,966	▲5.3
05年10月	68	▲35.4	1,718	11.9	3,700	▲9.8	3,646	▲10.5	9,132	▲7.0
05年11月	102	34.6	1,263	▲1.8	3,537	▲8.8	3,352	▲10.2	8,254	▲8.0
05年12月	84	0.1	1,520	17.6	3,729	▲3.1	3,442	▲13.6	8,775	▲4.7
06年01月	92	107.5	1,398	4.4	2,907	▲10.9	2,671	▲15.1	7,069	▲9.3
06年02月	161	119.9	1,073	▲29.2	3,014	▲7.5	2,702	▲14.5	6,950	▲13.2
06年03月	59	4.6	1,762	28.9	3,821	5.5	3,677	▲1.5	9,318	6.1

*資料出所 … 苫小牧港管理組合 (HP) (*数値は速報値のため、後日変更となることもあります。)



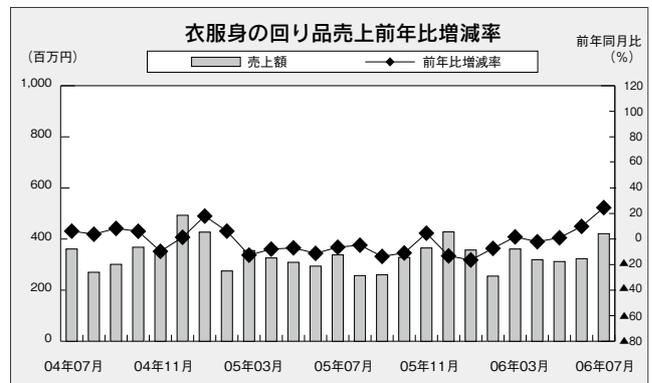
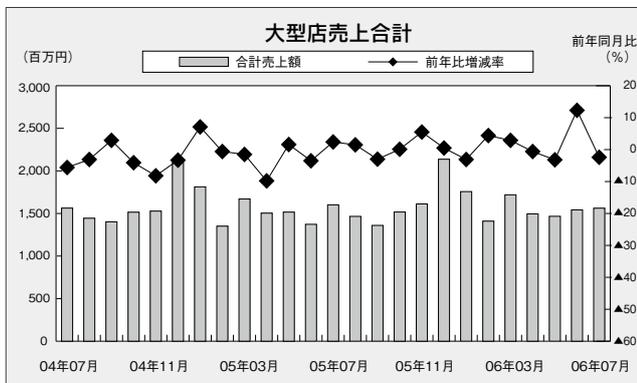
4. 商業の状況

① 大型店売上状況

(単位：百万円・%)

	衣服・身の回り品		飲食料品		飲食店		家具・建具・什器		その他		合計	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
05年07月	338	▲6.4	395	5.1	204	▲1.9	41	5.1	623	7.6	1,601	2.4
05年08月	257	▲4.8	328	▲5.5	235	5.4	40	▲11.1	606	8.4	1,466	1.5
05年09月	260	▲13.6	333	4.1	193	▲2.5	41	▲16.3	533	▲0.2	1,360	▲3.0
05年10月	328	▲10.9	356	6.9	202	▲4.7	54	1.9	577	5.1	1,517	0.1
05年11月	365	4.6	385	3.8	209	0.0	43	▲2.3	610	9.9	1,612	5.5
05年12月	428	▲13.2	550	2.4	270	▲0.7	52	13.0	837	7.6	2,137	0.5
06年01月	357	▲16.4	397	2.3	252	▲1.6	33	▲5.7	718	1.6	1,757	▲3.1
06年02月	255	▲7.3	359	5.6	206	1.0	33	▲2.9	557	11.8	1,410	4.4
06年03月	361	1.7	385	6.1	244	3.0	44	▲13.7	685	3.2	1,719	2.9
06年04月	319	▲2.1	335	1.8	203	▲4.2	46	▲4.2	593	0.7	1,495	▲0.6
06年05月	312	1.0	335	▲2.0	203	▲1.9	39	2.6	578	▲6.8	1,467	▲3.2
06年06月	323	9.9	374	20.3	208	13.0	44	0.0	593	9.8	1,542	12.3
06年07月	421	24.6	394	▲0.3	207	1.5	40	▲2.4	500	▲19.7	1,562	▲2.4

*資料出所 苫小牧商工会議所調査月報 *大型店＝売り場面積が1,500㎡以上の小売店の内、令和4年3月から市内2店舗を対象。

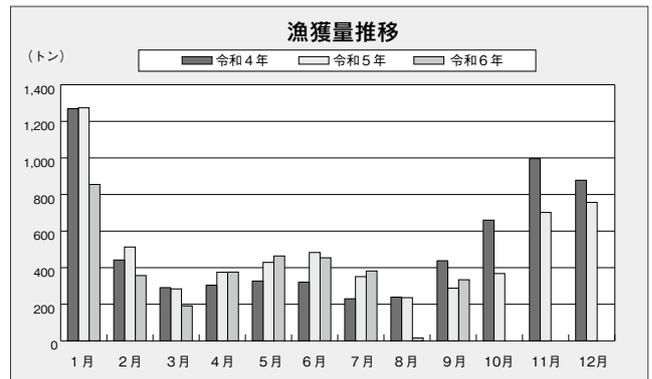
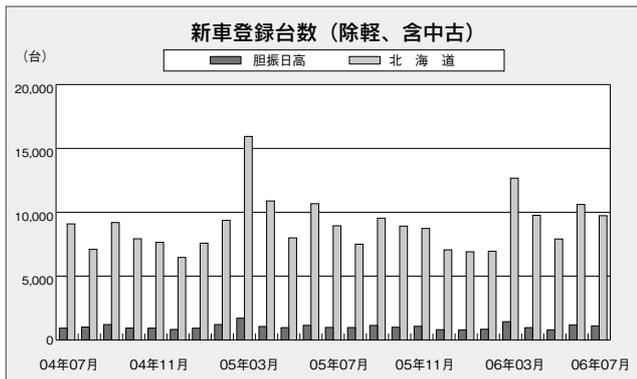


② 新車登録台数

(単位：台・%)

	新車登録台数 (除軽)										苫小牧市軽自動車新規登録台数	
	胆振日高 (室支局管内)						北海道		全国		新規登録台数	前年比
	小型乗用	前年比	その他	前年比	合計	前年比	前年比	前年比				
05年07月	260	0.8	721	7.9	981	5.9	8,943	▲1.6	253,241	18.3	465	▲11.8
05年08月	308	▲11.2	665	0.0	973	▲3.9	7,499	5.7	213,865	19.4	462	▲11.8
05年09月	382	▲8.0	757	▲4.4	1,139	▲5.6	9,534	3.7	272,208	12.5	570	▲10.5
05年10月	380	▲3.1	617	13.6	997	6.6	8,914	12.5	243,144	14.9	647	14.3
05年11月	376	4.7	695	21.9	1,071	15.3	8,735	14.3	255,054	15.1	565	▲1.6
05年12月	273	7.1	529	▲6.9	802	▲2.6	7,052	9.1	232,320	11.1	357	▲25.2
06年01月	248	▲6.4	541	▲18.0	789	▲14.7	6,906	▲8.9	216,926	▲5.5	296	▲37.8
06年02月	206	▲40.3	635	▲26.3	841	▲30.3	6,942	▲25.9	226,769	▲16.0	347	▲30.2
06年03月	306	▲39.0	1,128	▲6.2	1,434	▲15.9	12,672	▲20.5	303,216	▲19.9	458	▲6.0
06年04月	224	▲37.8	741	6.6	965	▲8.5	9,758	▲10.3	207,536	▲5.7	503	▲21.8
06年05月	249	▲24.8	541	▲14.7	790	▲18.1	7,910	▲1.0	201,643	▲2.4	409	▲21.2
06年06月	427	24.5	757	▲5.5	1,184	3.5	10,609	▲0.6	241,561	▲7.0	513	6.4
06年07月	334	28.5	766	6.2	1,100	12.1	9,731	8.8	263,194	3.9	639	37.4

資料出所 … 苫小牧商工会議所調査月報・経済産業局・自販連



【商業関連情報—卸売市場・物価・漁獲】

苫小牧市管内漁獲高動向概算値（令和6年7月～9月）

（数量：トン、金額：千円、増減-比：％）

数量上位	数量	前年比増減	順位	金額上位	金額	前年比増減
かれい	170	▲40.8	1	かに	179,663	17.4
ほっき貝	158	▲20.2	2	ほっき貝	108,647	▲6.1
つぶ	129	100.9	3	たこ	47,455	▲32.0
たこ	100	110.7	4	うに	42,349	25.0
その他魚類	75	▲10.2	5	かれい	36,648	▲39.2
06年7月～9月合計	732	▲16.4		06年7月～9月合計	481,199	▲6.8
06年1月～9月累計	3,430	▲19.0		06年1月～9月累計	1,218,713	▲3.0

苫小牧市公設地方卸売市場取扱実績（令和6年7月～9月）

（単位：数量-トン、金額-千円、比-％）

		水産物計	前年比	果実	前年比	蔬菜	前年比	青果計	前年比
06年7月～9月	数量	2,296	▲4.1	992	▲11.5	1,081	▲25.2	2,073	▲18.9
	金額	2,720,797	20.5	521,492	▲7.6	269,313	▲21.4	791,614	▲12.8
06年4月～06年9月累計	数量	4,950	▲56.4	1,458	▲53.1	2,036	▲59.7	3,494	▲57.2
	金額	4,322,507	▲49.6	796,201	▲48.7	577,254	▲54.0	1,374,704	▲51.1

* 苫小牧市公設地方卸売市場資料より当金庫が作成

苫小牧市生活必需品価格動向、平均価格対前月上昇・下降上位5品（令和6年9月10日調べ）

（単位：円・％）

前月比上昇品	9月平均価格	対前月変動率	前年同月平均価格	順位	前月比下降品	9月平均価格	対前月変動率	前年同月平均価格
大根	28.7	40.7	20.8	1	もち	84.7	▲46.1	124.7
たらこ	438.7	27.5	352.6	2	はくさい	28.3	▲24.1	36.3
レタス	51.8	27.0	77.5	3	れんこん	100.7	▲24.1	120.8
トマト	68.7	27.0	71.6	4	トイレットペーパー	440.1	▲18.1	458.3
きゃべつ	22.4	26.6	24.0	5	生そば	79.4	▲16.6	100.0

* 生鮮品は100gあたり、うるち米は道産ななつほし（無洗米を除く）、トイレットペーパーはシングル・50m・12ロール入り

苫小牧市燃料価格動向（令和6年9月）

（単位：円・％）

品名	単位	8月価格	9月価格	前月比上昇率	（高値～安値）	前年9月平均価格
家庭用灯油	1リットル	119.06	118.89	▲0.1	123.00～113.30	124.82
プロパンガス	10.0m ³	10,871.50	10,871.50	0.0	12,705.00～8,690.00	10,738.70
ガソリン（フル）	1リットル	166.00	173.29	4.4	178.00～160.00	186.14
ガソリン（セルフ）	1リットル	163.51	170.62	4.3	174.00～157.80	183.04

* 家庭用灯油…ホームタンク配達料込み、プロパンガス…体積買（10.0m³）、ガソリン…レギュラー

* 以上2表苫小牧市生活必需品価格動向表（苫小牧市市民生活部市民生活課）より当金庫が作成

5. 不動産の状況

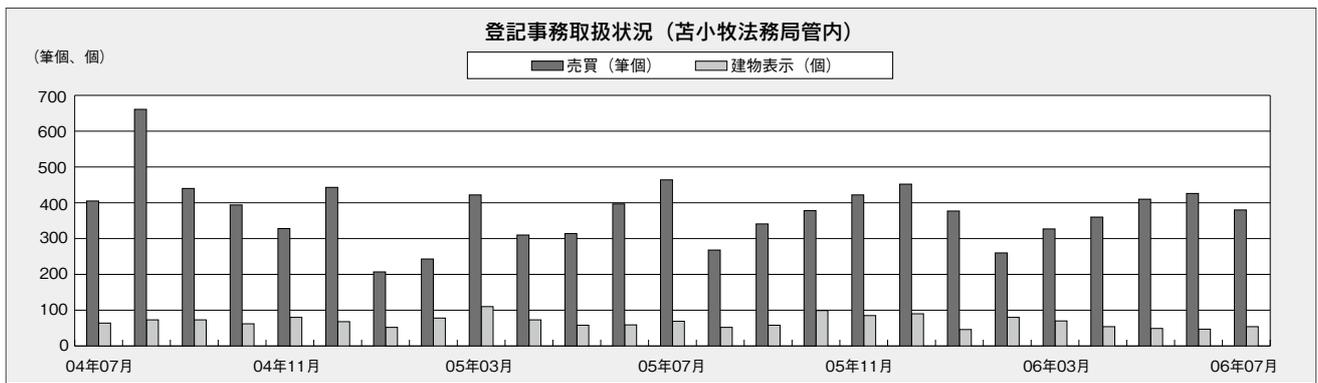
登記事務取扱状況

	売買 （筆個）	前年比 （％）	建物表示 （個）	前年比 （％）	国土法届出件数 （件）	前年差 （件）
05年07月	464	14.6	69	7.8	3	▲5
05年08月	268	▲59.5	52	▲28.8	4	1
05年09月	341	▲22.5	58	▲20.5	7	5
05年10月	378	▲4.1	99	59.7	3	1
05年11月	422	28.7	85	6.3	5	2
05年12月	452	2.0	90	32.4	12	8
06年01月	377	82.1	46	▲11.5	1	0
06年02月	260	7.0	80	2.6	3	0
06年03月	327	▲22.5	70	▲36.4	5	▲2
06年04月	360	16.1	54	▲26.0	7	2
06年05月	410	30.6	49	▲15.5	5	1
06年06月	426	7.3	47	▲20.3	4	1
06年07月	380	▲18.1	54	▲21.7	5	2

資料出所 … 売買・建物表示—苫小牧商工会議所調査月報（法務局苫小牧支局）

国土法届出—苫小牧商工会議所調査月報（苫小牧市都市建設部）

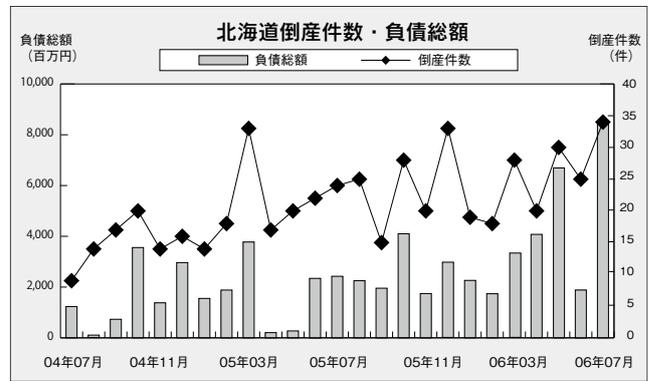
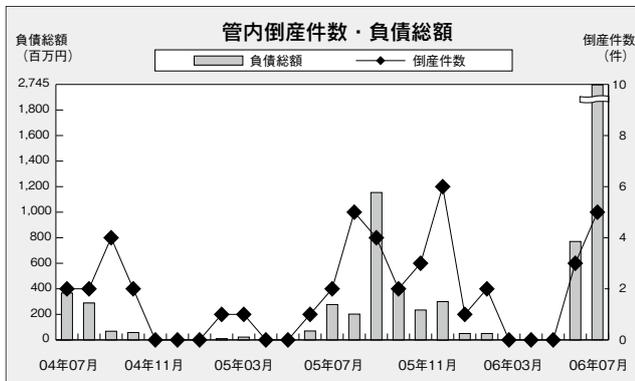
* 法務局苫小牧支局管内 … 苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町



6. 企業倒産状況

	管内				北海道			
	倒産件数 (件)	前年差 (件)	負債総額 (百万円)	前年比 (%)	倒産件数	前年比 (%)	負債総額 (百万円)	前年比 (%)
05年07月	2	0	277	▲24.5	24	166.7	2,425	96.7
05年08月	5	3	202	▲30.1	25	78.6	2,250	2,219.6
05年09月	4	0	1,154	1,597.1	15	▲11.8	1,955	167.4
05年10月	2	0	405	598.3	28	40.0	4,099	15.2
05年11月	3	3	234	—	20	42.9	1,745	26.5
05年12月	6	6	302	—	33	106.3	2,965	0.0
06年01月	1	1	50	—	19	35.7	2,263	45.7
06年02月	2	1	50	400.0	18	0.0	1,737	▲7.8
06年03月	0	▲1	0	▲100.0	28	▲15.2	3,323	▲12.0
06年04月	0	0	0	—	20	17.6	4,076	1,898.0
06年05月	0	0	0	—	30	50.0	6,692	2,360.3
06年06月	3	2	771	1,001.4	25	13.6	1,888	▲19.6
06年07月	5	3	2,745	891.0	34	41.7	8,417	247.1

* 資料出所 … 苫小牧商工会議所
 * 管内 … 胆振東部、日高西部
 * 管内の計数は法的整理のみ、任意整理は含まず

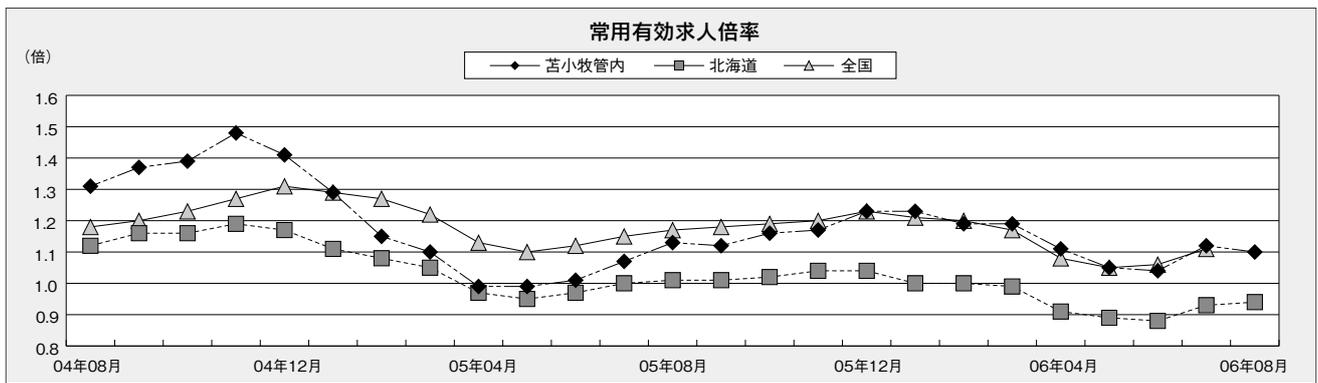


7. 雇用状況

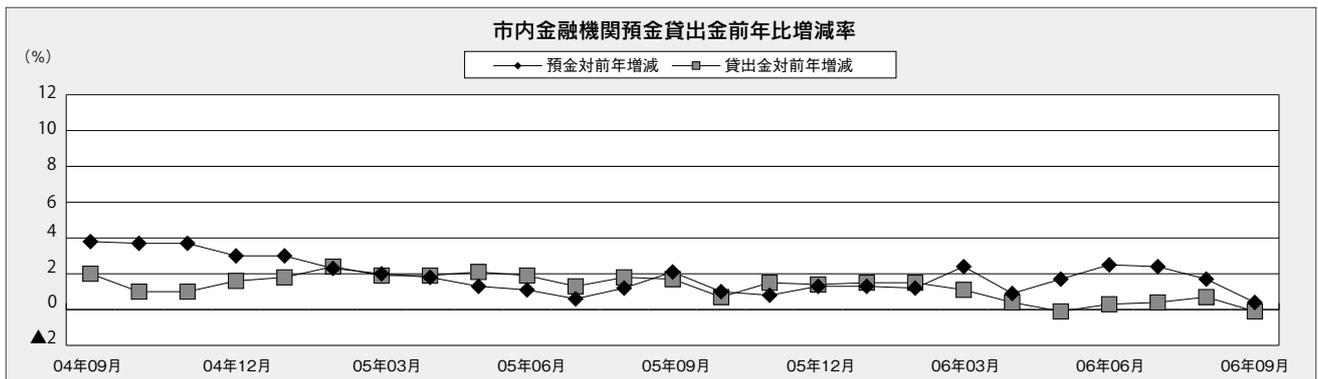
単位：%

	有効求人倍率			完全失業率	
	苫小牧管内	北海道	全国	北海道	全国
05年08月	1.13	1.01	1.17	2.8	2.7
05年09月	1.12	1.01	1.18		2.6
05年10月	1.16	1.02	1.19		2.5
05年11月	1.17	1.04	1.20	2.7	2.4
05年12月	1.23	1.04	1.23		2.3
06年01月	1.23	1.00	1.21	2.4	2.4
06年02月	1.19	1.00	1.20		2.6
06年03月	1.19	0.99	1.17		2.7
06年04月	1.11	0.91	1.08	3.0	2.8
06年05月	1.05	0.89	1.05		2.8
06年06月	1.04	0.88	1.06		2.6
06年07月	1.12	0.93	1.11		2.7
06年08月	1.10	0.94			

* 資料出所 … 苫小牧公共職業安定所「業務概要」より



8. 金融の状況



苫小牧市内預金・貸出金残高

単位：百万円・%

単位：百万円・%

	預金残高	前年比
05年09月	880,205	2.1
05年10月	881,476	1.0
05年11月	877,132	0.8
05年12月	887,067	1.3
06年01月	875,438	1.3
06年02月	871,706	1.2
06年03月	865,448	2.4
06年04月	881,037	0.9
06年05月	882,626	1.7
06年06月	893,530	2.5
06年07月	889,028	2.4
06年08月	895,362	1.7
06年09月	883,480	0.4

	貸出金残高	前年比
05年09月	474,110	1.7
05年10月	471,451	0.7
05年11月	476,229	1.5
05年12月	482,084	1.4
06年01月	479,119	1.5
06年02月	478,606	1.5
06年03月	479,143	1.1
06年04月	477,985	0.4
06年05月	473,473	▲0.1
06年06月	476,476	0.3
06年07月	476,969	0.4
06年08月	478,800	0.7
06年09月	473,831	▲0.1

*資料出所 … 苫小牧金融協会

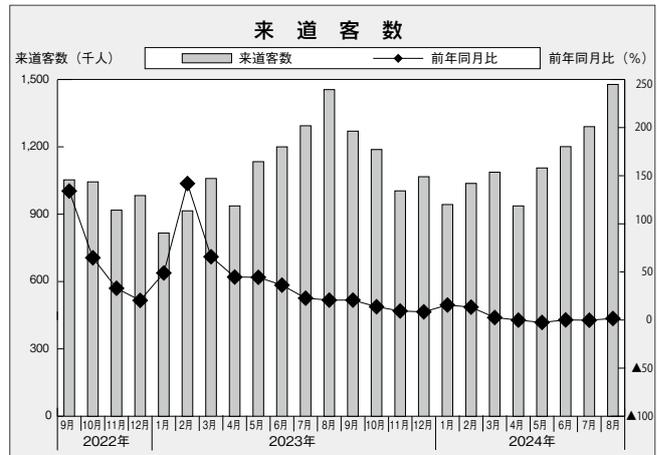
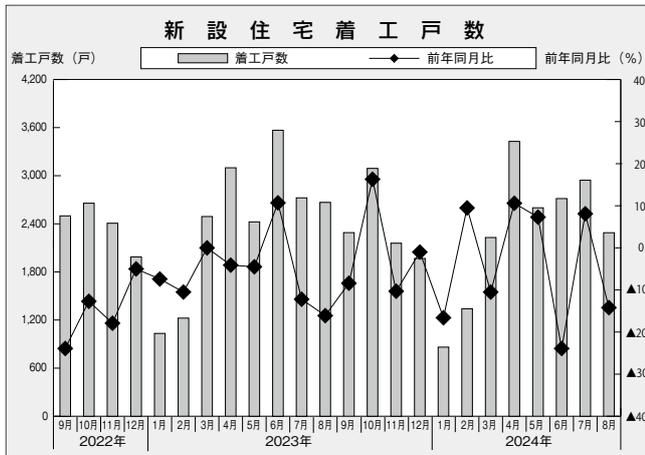
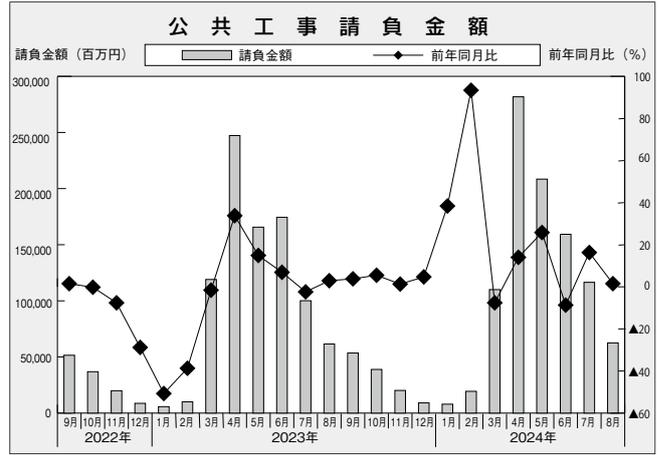
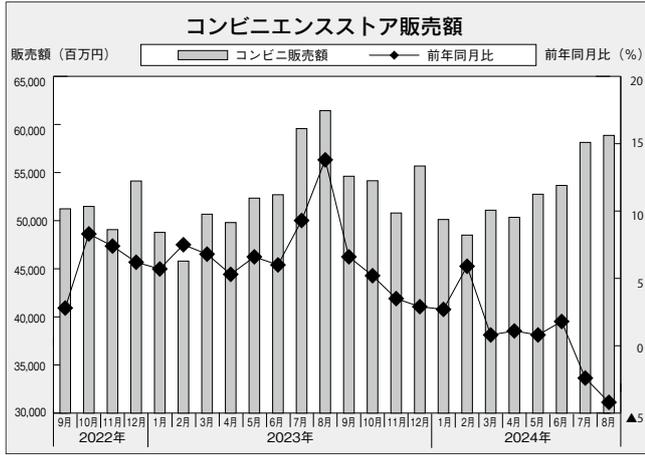
9. 管内の人口・世帯数（令和6年9月末）

単位：人

市 町	人 口		世 帯 数	
	人 口	前 年 差	世 帯	前 年 差
管内合計	338,295	▲ 3,034	186,236	569
市 部 計	263,303	▲ 1,855	143,854	610
苫小牧市	165,758	▲ 1,385	91,382	319
千歳市	97,545	▲ 470	52,472	291
郡 部 計	74,992	▲ 1,179	42,382	▲ 41
白老町	15,191	▲ 318	9,192	▲ 73
厚真町	4,246	▲ 74	2,113	▲ 12
安平町	7,347	37	4,099	94
むかわ町	7,358	▲ 79	4,160	69
日高町	10,990	▲ 165	6,258	▲ 28
平取町	4,483	▲ 113	2,419	▲ 35
新冠町	5,054	▲ 119	2,824	5
新ひだか町	20,323	▲ 348	11,317	▲ 61

北海道の主要経済指標

出典：経済産業省 北海道経済産業局 管内経済概況 主要経済指標



北海道の主要経済指標		コンビニ販売額		公共工事請負額		新設住宅着工戸数		来道客数	
		販売額 (百万円)	前年同月比	請負額 (百万円)	前年同月比	着工戸数 (戸)	前年同月比	来道客数 (千人)	前年同月比
2022年	9月	51,231	2.8	51,534	1.5	2,499	▲ 23.9	1,053	134.1
	10月	51,478	8.3	36,857	▲ 0.2	2,657	▲ 12.7	1,044	64.7
	11月	49,069	7.4	19,921	▲ 7.6	2,407	▲ 17.9	918	33.0
	12月	54,122	6.2	8,682	▲ 28.8	1,987	▲ 5.0	983	20.4
2023年	1月	48,782	5.7	5,726	▲ 50.7	1,033	▲ 7.4	816	48.9
	2月	45,798	7.5	10,031	▲ 38.7	1,224	▲ 10.5	915	141.9
	3月	50,671	6.8	119,060	▲ 1.6	2,491	0.0	1,059	65.8
	4月	49,802	5.3	247,252	33.8	3,099	▲ 4.1	937	44.7
	5月	52,342	6.6	165,658	14.9	2,424	▲ 4.5	1,134	44.4
	6月	52,694	6.0	174,462	6.9	3,567	10.7	1,200	36.3
	7月	59,567	9.3	100,138	▲ 2.4	2,724	▲ 12.2	1,294	22.7
	8月	61,432	13.8	61,565	2.9	2,667	▲ 16.1	1,455	20.7
	9月	54,619	6.6	53,509	3.8	2,290	▲ 8.4	1,270	20.7
	10月	54,148	5.2	38,890	5.5	3,091	16.3	1,188	13.8
	11月	50,795	3.5	20,175	1.3	2,158	▲ 10.3	1,004	9.4
	12月	55,682	2.9	9,093	4.7	1,968	▲ 1.0	1,067	8.5
2024年	1月	50,120	2.7	7,927	38.4	862	▲ 16.6	943	15.6
	2月	48,501	5.9	19,396	93.4	1,340	9.5	1,037	13.4
	3月	51,088	0.8	110,023	▲ 7.6	2,229	▲ 10.5	1,087	2.6
	4月	50,348	1.1	281,773	14.0	3,428	10.6	937	▲ 0.1
	5月	52,746	0.8	208,449	25.8	2,600	7.3	1,106	▲ 2.5
	6月	53,663	1.8	159,292	▲ 8.7	2,715	▲ 23.9	1,201	0.1
	7月	58,134	▲ 2.4	116,498	16.3	2,944	8.1	1,290	▲ 0.2
	8月	58,864	▲ 4.2	62,509	1.5	2,289	▲ 14.2	1,478	1.6

今号の特集は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所発行の経済金融情報 No.2024-2（2024.9.6発行）より、拡大するアジア新興国経済 - 日本人と同等の購買力を有する高所得層がアジア新興国にも存在 - について抜粋転載してご紹介いたします。

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席主任研究員 鹿庭 雄介 氏

1. アジア新興国の経済規模

IMF（国際通貨基金）が公表している「World Economic Outlook」のデータを基に主要国・地域別のGDPシェアをみると、アジア新興国の経済規模が拡大を続けていることが確認できる。00年初めに5%以下であった中国のシェアは直近23年に16.9%まで上昇し、日本やユーロ圏を追い抜き世界第2位の経済大国となっている。また、中国以外のアジア新興国も23年のシェアは7.2%と存在感を高めてきている。これにより、中国を含めたアジア新興国の23年シェアは24.0%となり、世界最大の経済大国である米国（26.1%）に肩を並べる規模にまで成長している。そして、IMFの予測最終年である29年には、中国を含めたアジア新興国のシェアが26.9%にまで高まり、米国（25.1%）を上回ると見込まれている。

アジア新興国の中で、経済規模の拡大をけん引している国はどこか。アジア新興国30か国のうち経済規模の大きい8か国（中国・インド・インドネシア・タイ・バングラデシュ・ベトナム・フィリピン・マレーシア、以下、「アジア主要新興国」という。）の13年、23年、29年時点（IMF予測）の名目GDP（市場為替レート）を日本と比較してみると、中国の経済規模が群を抜いて大きい。13年の段階で中国の名目GDPは既に日本の2倍弱もあり、それが足元23年には4倍となり、さらに29年には5倍程度まで差が開くと予測されている。中国に次ぐ経済規模を有するのがインドである。13年時点では日本の3分の1程度であったが、23年には8割を超える水準まで拡大している。IMFでは25年に日本を上回り、29年には1.3倍に達すると予測している。残る6か国は、中国とインドに比べれば経済規模は小さいものの、高い経済成長率を背景に年々日本との差を縮めている。ASEAN（東南アジア諸国連合）に属する5か国（インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア）の名目GDPの合計は、13年時点で日本の4割程度であったものが、23年には7割を超え、29年にはほぼ同水準になるとみられている。また、バングラデシュは他国と比べて速いペースで経済規模が拡大している。13年に8か国の中で最も小さかった名目GDPは、23年にはマレーシアとベトナム、フィリピンを抜き5位に浮上している。さらに29年までにタイを上回り、インドネシアに次ぐアジア主要新興国第4位の経済規模になると予測されている。この結果、アジア主要新興国全体では、13年に日本の2.7倍程度であった名目GDPが、23年に6倍弱まで拡大し、29年には7倍を超える水準に達すると見通されている。

2. 購買力平価ベースでみた名目GDPと一人あたりGDP

名目GDPを国際比較する際には、市場為替レート（外国為替市場の実勢レート）を用いて、米ドル建てに換算するケースが多い。ただ、市場為替レートは、資本市場における通貨への需給により決定されるものであり、国ごとの価格水準の違いを必ずしも反映しない。こうした状況に鑑み、各種データを国際比較する時には、購買力平価（国と国との間で違う物価水準の差を取り除くことにより、国ごとに異なる通貨の購買力を等しくすることを狙った通貨交換比率）を用いて換算することがある。購買力平価ベースの方が、実質的な経済規模、生活水準等を正確かつ公平に比較するには優れていると指摘する向きもある。各国の名目GDPを購買力平価ベースで換算したものとみると、23年の経済規模が中国で日本の5倍（市場為替レートでは4倍）まで拡大するほか、インドも2倍超（同8割超）と日本を大きく上回っている。残る6か国との差も軒並み縮まり、アジア主要新興国全体の名目GDPは23年時点で日本の8倍超となり（同6倍弱）、29年には11倍超（同7倍超）まで膨らむ予測となる。日本と物価水準の差（日本>アジア主要新興国）を反映した結果、購買力平価ベースで換算した名目GDPはアジア主要新興国で拡大幅が大きくなっている。他方、アジア主要新興国の名目GDP（購買力平価ベース）をそれぞれの人口で除した一人あたりGDPをみると、23年の時点で一国全体の経済規模が日本を大きく上回る中国やインドでも日本の半分以下にとどまる。一人あたりGDPが最も大きいマレーシアでも日本の7割程度となっている。どの国も経済成長とともに先行き一人あたりGDPの拡大が見込まれているものの、29年に日本を追い越す国はないと予想されている。

3. 所得階層別にみた一人あたりGDP

もっとも、一人あたりGDPは各国の国民の平均的な姿を示しているに過ぎず、実際には高額な商品やサービスを購入できる高所得層がどの国にも一定割合存在すると考えるのが妥当であろう。この点を踏まえ、世界銀行

が発表している5分位階級所得割合（人口を所得が少ない順に並べて5等分した際に、各階級における所得の和が全体の所得に占める割合）のデータを基に、所得階層ごとの一人あたりGDP（購買力平価ベース）を試算してみた。23年の状況を見ると、マレーシアでは最も所得水準の高い上位層が9万ドル近くに達しており、国民の2割が日本の中上位層と上位層の間の水準にある。また、人口の多い中国では、5万ドル台の上位層が2.8億人に達しており、日本の中位層を超える水準にある国民が日本の総人口の2倍以上も存在する試算結果となった。その他の多くのアジア主要新興国でも、上位層は日本の下位層から中位層のレベルに達している。そして、先行きアジア主要新興国の所得層は高い経済成長率を追い風に徐々に日本の所得水準に近づいてくる見通しである。IMFの予測に基づくと、29年までに新たにマレーシアの中上位層やインドネシアの上位層が日本の中位層の所得水準を超えてくると試算される。日本の所得階層別にアジア主要新興国の人口を振り分けると、23年時点で既に日本の中位層以上の所得水準にあるアジア主要新興国の人口は3億人近くに達しており、その大部分を中国の上位層が占めている。また、下位層と中下位層の間には10億人以上の人々が存在し、中国の中上位層、中位層に加えてインドの上位層やインドネシアの中上位層が押し上げている。そして、先行き29年には日本の中下位層から中位層の間に位置する人口が増えて厚みが増すと同時に、1万ドル以下の低所得者層が23年の15億人弱から8億人まで減少すると見込まれている。

さらにアジア主要新興国の上位10%の所得層に絞って状況を見ると、23年の時点では、中上位層から上位層の間に中国が、下位層から中下位層の間にインドが中心となって大きな山を形成しているのが分かる。これが29年になると、アジア主要新興国の上位層の所得水準がさらに切り上がることで、日本の中下位層以上に匹敵する所得水準の人々が日本の人口の3倍程度も存在する見込みとなっている。

4. アジア主要新興国における高所得者層の消費行動

これまでみてきた通り、アジア主要新興国では経済成長に足取りを合わせる形で、先行き国民の所得水準が高まっていくと見込まれる。この点を踏まえ、以下、各国の消費マーケットを食料、住居、光熱・水道といった用途別に試算してみた。なお、各所得階層の支出額や用途別の支出構成比などは国ごとに異なろうが、該当するデータが公表されていないケースも多い。このため粗い前提とはなるが、いずれの国でも総務省「家計調査」から得られる23年時点の日本の家計の状況と同様であると仮定した。23年時点の日本の状況（所得階層別、用途別の世帯あたり支出額）は、所得階層が上がるにつれて支出額も多くなっているが、なかでも教育は上位層と下位層の差が20倍以上に達している。これに続くのが被服及び履物や教養娯楽などであり、所得に余裕がある層ほど支出を増やす傾向が強い。他方、光熱・水道や保健医療、住居、食料などは下位層と上位層で支出額がそれほど変わらない。日常生活を最低限維持するために必要な商品・サービスが多く含まれていることが影響しているとみられる。日本の支出額の状況を基に、アジア主要新興国において用途別の消費支出がどの程度見込めるのかを試算した。これによると、中国は既にどの用途でも支出額は日本の数倍に達していると見込まれる。また、インドも教育以外は支出額が日本を上回っていると試算される。これら2か国に残りの6か国を加えたアジア主要新興国全体では、光熱・水道や保健医療、住居、食料などの支出額が大きくなっている。これはアジア主要新興国では、多くの国民が日本の所得階層の中位層以下に該当していることが影響しており、生活必需品を中心に巨大な消費マーケットが存在していると推測できよう。半面、教育や被服及び履物、交通・通信、教養娯楽などへの支出額は相対的に小さいと試算され、所得水準の低さゆえに関連分野の消費マーケットは限られているとみられる。もっとも、5年先の29年には一人あたりGDPの拡大と所得水準の向上に伴って、アジア主要新興国では生活必需品以外の消費マーケットも拡大するとみられる。中国、インドに続き、インドネシアでも光熱・水道や住居、保健医療などを中心に日本を上回る市場規模になると予想される。

これまでアジア新興国はその経済規模や一人あたりGDPが小さいことを理由に、日本と同等の商品やサービスの購入は難しいという見方があった。ただ、生活必需品を中心に市場は十分に形成されているとみられ、今後も人口増加と経済成長に後押しされる形でより高価な商品・サービスの購入が増えてくると考えられる。日本市場の拡大が見込みにくい中において、日本企業にはアジア新興国のマーケットを開拓していくことがより一層求められよう。また、アジア新興国には一人あたりGDPが1万ドル以下といった低所得者もまだまだ多い。これらの所得層がいつか日本の所得水準に近づいてくることを見越して、今のうちからブランドの確立を進めるなどの種まきを行うことも求められよう。

以上

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

お取引先企業のご紹介コーナー

当金庫のお取引先企業様を紹介する「誌上ビジネスマッチング」のコーナーです。
是非、皆様の**販路拡大**や**ビジネスのご連携**にお役立て下さい。
お問合せは、当金庫または直接下記掲載企業様へご連絡下さい。

お弁当のこすもす Cosmoslunch**

〒053-0832
苫小牧市桜木町3-15-15
代表 野崎 智恵子

当社お弁当のこすもすは、仕出し弁当の事業を運営し、主に6店舗ある売店への卸販売、会社等のイベント弁当、会議弁当、町内会イベント弁当、個人顧客への弁当販売を行っています。

また、2年前にバイキングカフェをオープン。コンセプトは小さな子供からお年寄りの方までが集う憩いのバイキングカフェ。連日たくさんのお客様でにぎわっています。

両事業はご予約も承ります。是非一度ご来店くださいませ。



<主要取扱商品>

お弁当の製造販売・バイキングカフェ

【連絡先】 TEL：0144-72-6465 FAX：0144-61-1881
E-mail：cosmos@cosmoslunch.com
野崎 研 様

株式会社 千野米穀店

〒065-0032
札幌市東区北32条東7丁目3-24
(担当部署：北32条店)

当社では、『お米の美味しさを多くの人に伝え、幸せな食生活を創造する』を企業理念に、北海道米を中心とした数多くの種類を取り揃え、安心安全な美味しいお米を皆様へお届けしております！

一般的な「米屋」との差別化を図るべく「有機栽培米」や「アレルギーに配慮したお米」など顧客のニーズに合った商品を農家と連携提供しております！

You tube「お米炊飯研究所/Chinobeikokuten tv」での活動も行っており、美味しくなる「お米の研ぎ方」などの動画を通じて、お米の美味しさと楽しさを多くの人に伝える取り組みを行っていますので、ぜひチェックしてみてください！

当社の美味しいお米をぜひ召し上がってみてください！！

〈札幌市内店舗〉 ・北32条店：札幌市東区北32条東7丁目3-24
・大丸札幌店：札幌市中央区北5条西4丁目7番地 大丸松屋百貨店 札幌店地下1F
・円山精米所：札幌市中央区南1条西27丁目1-1 マルヤマクラス1F



<主要取扱商品>

- ・米穀搗精及び小売・業務用米卸及びこれらに関わる関連商品全般の販売
- ・アレルギーに配慮したお米及び関連商品の販売

【連絡先】 TEL：011-733-8158 FAX：011-788-5653
E-mail：chino@chino-grain.co.jp
代表：徳永 善也 様

HP：https://chino-grain.co.jp

最近の管内のトピックス - 新聞報道より -

※9年連続30%越え 苫小牧市のリサイクル率

苫小牧市がまとめた2023年度のごみのリサイクル率は、30.6%で、前年度から1.4%減少したものの、9年連続で30%台をキープした。人口10万人以上の道内9市でのトップも14年度から10年連続で達成し、ごみの減量傾向とともに高水準のリサイクル率が保たれている。- 中略 - 家庭ごみが13年7月に有料化されて以降、1日1人当たりの排出量はおおむね550g前後で推移していたが、23年度は537gまで減り、過去最少を7年ぶりに更新した。- 後略 -

(8月26日苫小牧民報社より - 以下同じ)

※市上下水道部がインスタ開設 おいしい水をアピール

苫小牧市上下水道部が上下水道事業を紹介するSNSのインスタグラムを開設した。市のペットボトル入り水道水「とまチョップ水」(500ml、100円)の関連情報や上下水道事業を中心に発信し、苫小牧のおいしい水をアピールする。同部ではこれまでも市の公式ホームページやラインで情報を発信。若い層をターゲットに事業を知ってもらおうと、2日のとまこまい港まつり開幕に合わせてインスタグラムを開設した。同部の既存ラインとも連携させ、情報を幅広いユーザーに届けていく。

同部は「新規のフォロワー獲得につながるよう、興味を引く投稿をしていけたら」と話している。- 後略 -

(8月28日)

※百縁商店街に長蛇の列 「まちフェス」 中心街に活気

苫小牧市の中心市街地などで31日、にぎわい創出を目指す「まちフェス—夏—」が始まった。この日は「とまこまい百縁商店街」「うまいっしょ! とまこまい」「まち市」「野外音楽フェスティバル活性の火」の4イベントが開かれ、買い物を楽しむ市民の姿などが広がった。9月1日は引き続き活性の火と「とまこまいまちなかイベントひろば」が開かれる。このうち「とまこまい百縁商店街」は31日午前、苫小牧市商店街振興組合連合会が主催し、表町や王子町、錦町などの31店で開かれた。「中心街全体が100円ショップに大変身」とうたい、印鑑や眼鏡ケース、純銀小判1gなどの商品やサービスを100円で提供した。- 後略 -

(8月31日)

※音楽やお笑いライブに熱狂 ミライフスト2日間で2万3000人来場

音楽やアート、食などをテーマにした複合型イベント「TOMAKOMAI MIRAI FEST (トマコマイミライフスト) 2024」が7、8の両日、苫小牧港・西港北埠頭キラキラ公園で開かれた。2日間ともに好天に恵まれ、入場者数は初日が約8000人、2日目が約1万5000人の計約2万3000人で、昨年を約4000人上回った。

8日は有料エリアの音楽ライブにゴールデンボンバーや氣志團、湘南乃風、など有名アーティストが登場し、テントの外まであふれた観客がタオルを振るなどして盛り上がった。別のステージではオズワルドやトレンディエンジェルなどお笑い芸人、アニメソングで人気の歌手影山ヒロノブさんが会場を沸かせた。また、無料エリアでは企業のPRブースなどが並ぶGX (グリーントランスフォーメーション) パークを設けた他、ダンスコンテストなども開かれ、訪れた市民が思い思いに楽しんだ。- 後略 -

(9月9日)

※OSK日本歌劇団 天輝レオさん凱旋公演 華麗な舞に酔いしれる

苫小牧市出身でOSK日本歌劇団(大阪市)に所属する天輝レオさんが主演する、同歌劇団の苫小牧市公演「OSK Revue Show(レビュー・ショー) in 苫小牧」が21、22両日、市民会館大ホールで開かれた。2日間の3公演で市民ら約2000人が訪れ、天輝さんらの華やかな舞台に酔いしれた。

同歌劇団、苫小牧観光協会が共催。主演の天輝さんは、音楽に合わせた美しい歌声や切れのあるダンス、歌劇、剣舞など役割は多岐にわたった。光源氏役で平安時代の世界観も演じた他、昨秋のNHK連続テレビ小説の放送開始以降、再び脚光を浴びた「東京ブギウギ」などを届け、観客を存分に楽しませた。- 後略 -

(9月23日)

とましん結婚相談所「LLB会」

とましん結婚相談所「LLB会」事務局

苫小牧市表町3丁目1番6号 苫小牧信用金庫本店7階

電話 0144-56-5026

【平日 9:00~17:30】

お気軽に、お問い合わせください！



■活動実績

(令和6年9月30日現在)

入会者数	男性	397名
	女性	401名
	合計	798名

お見合回数 925回

結婚又は婚約中 72組

子供の誕生 23名

■会員資格

1. 苫小牧信用金庫の営業地域にお住まいの方
 2. 法的にも実生活上においても独身の方
 3. 結婚したいという明確な意思のある方
 4. 反社会的勢力でないこと
- ※ 会員の有効期間は入会日より3年間です
(希望により延長も可能です)

■入会にあたりご提出いただくもの

1. 申込書類
(当会所定の入会申込書、プロフィール、誓約書)
2. 戸籍謄本または独身証明書
3. 最終学歴の卒業証書(任意)
4. 収入証明書(源泉徴収票など)
5. 申込書貼付用顔写真1枚(縦横5cm程度)
6. お相手へのご紹介用写真2カット
(L判サイズ、1枚は全身が写っているもの)
7. 入会預り金 10,000円
(退会時には全額返却いたします)

■LLB会のシステム

1. 申込書に記載された「お相手の希望」に沿った方の「プロフィール及び写真」を見ていただけます。
2. お会いしてみたい方がいた場合、事務局よりお相手の方に連絡し了解がとれれば、お見合いをしていただけます。(お見合い会場は苫小牧信用金庫本店内)
3. お見合い後に、交際希望の有無を確認させていただきます。
4. 双方が交際を希望した場合、3か月の交際期間を設けます。交際期間の中で「結婚を前提に交際を継続」または「交際を辞退」の結論を出していただけます。

とましん景況レポート No.160

令和6年11月発行

発行/苫小牧信用金庫 編集/業務推進部

〒053-8654 苫小牧市表町3丁目1番6号

TEL(0144)56-5026 FAX(0144)31-2341

※本レポートは調査時点における情報提供を目的としています。
したがって投資等についてはご自身の判断によってください。
また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。